					2単位							
科目名	医学一般	科目 コード	W21023	単位数 時間	2年1位 30時間	対象 学年	2年	開講 学期	前期			
					001,111							
区分	社会福祉学支援科目 選択 社会福祉士指定科目 選択必	担当者名	1	相馬 信			授業 形態	講義	単独			
	精神保健福祉士指定科目 修 社会福祉士に必要な人体の特	炒 (6 2 立 1) 上	- 理) レタ種佐島 特に	宣齢老に 多	とい佐串たエ	田邸する						
授業の 概要	11 公田位上に必安な八件の行	1线 (片中口)。 工	C 在 在 性	同断省に3	が、沃思でき	± 71∓ 9 ° €	0					
到達目標	生理、解剖を通じ人体の仕組 寄り添う姿勢を学び、身につ		8知症、骨疾患、生活習	慣病を理解	望する。さら	らに社会	的弱者力	とる高齢者、	障害者に			
			授 業 計 画									
0	主 題		授業内容(持	受業時間外	の学修を含	(1		1	備考			
第1回	人の成長・老化	成	長と心身の変化、老化る									
第2回	身体の構造と心身機	能心	臓、腎臓の構造を知り、									
第3回	"	呼	吸器、消化器の機能、									
第4回	"	神	経、内分泌器官を学ぶ。									
第5回	疾病の概要	生	活習慣病、悪性疾患の特別	寺徴を学び	、予防に役	立てる	ō					
第6回	"	高	血圧と逸れに伴う心疾	患、脳血管	疾患を学る	, o						
第7回	"	糖	糖尿病とその合併症を理解する。									
第8回	"	消	化器、腎·泌尿器疾患?	を知る。								
第9回	"	高	齢者に多い骨疾患や神紀	経疾患を学	స్.							
第10回	障害の概要	視	・聴覚障害、死体不自B	由を理解す	る。							
第11回	"	知	的・発達障害を学ぶ。									
第12回	"	認	知症の現状を知り、接り	ン方を学ぶ	· •o							
第13回	"	精	神障害を学び、正しい	忍識を持つ	0							
第14回	リハビリテーションと国	祭分類 りる	ハビリという新しい医 ^症 。	学を学び、	疾患や障害	の国際	分類を知	l				
第15回	健康の捉え方	人	口統計、国民健康づく「	J対策の過	去、現在を	学ぶ。						
評価 方及 評基 基	試験60点以上で合格。											
教材 教科書 参考書	新・社会福祉士養成講座Ⅰ	人体の構造と	:機能及び疾病 中央	法規								
留意点		授業に参加すること。講義内容は教科書以外にもあります。										

科目名	対人関係の心理学	学	科目コード	W21024	単位数 時間	2単位 30時間	対象 学年	2年	開講 学期	前期
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	乘		ケベノロトー		授業 形態	講義	

[キーワード: 自己覚知・価値観・こころとこころ・出会いと気づき・人間関係づくりと支援] 社会人一年生が受けたい授業。基礎ベースを学び、応用を自分の力で考えていく考察

授業の 概要	力を鍛える。 かかわりを考え、体験・実践し学び、ここた、子どもとその保護者・高齢者や障がい	ろとこころ・出会いと気つき・人間関係つくりと支援」 社会人一年生が受けたい授業。基礎ベースを学び、応用を自分のナ ころとこころを通わせ本当の人間関係について考える。 い者など、地域に住む方と自分とのかかわりを考え「生き方」を整理す	人と人のま
到達目標	* 人を育てるための関わりと支援方法を	見状に新たな「コミュニケーション」をプラスする を学ぶ。 を想定しフォロワーシップについて学ぶ	
		授 業 計 画	
	主題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	オリエンテーション①	~「こころ」と「こころ」こんにちは~	
第2回	ソーシャルチェンジ①	~切り開け!未来への扉~	
第3回	ソーシャルチェンジ②	~変える力と成長~	
第4回	私はだれ?①	~わたしのポジション、第3者のわたし~	
第5回	私はだれ?②	~価値観と俯瞰する呼吸~	
第6回	自己覚知①	~個人の気づき(価値観の明確化)~	
第7回	自己覚知②	~自己開示とフィードバック~	
第8回	コミュニケーション①	~コミュニケーションは two way~	
第9回	コミュニケーション②	~相手をかんじる~	
第10回	コミュニケーション③	~相手のこころに伝える~	
第11回	地域の存在	~こころのパリアフリー「生きるサイン」を感じとれ!! ~ (高齢者・子ども・障がい者・グレーゾーンなど)	
第12回	かかわる①	~フォロワーシップについて~	
第13回	かかわる②	~ひとりではリーダーになれない~	
第14回	かかわる③	~フォロワーの思考~	
第15回	人間関係とは	~出会いで新しい自分に出会おう~	
方法 及び 評価	※講義日程が	・26日、5月17日、6月21日、7月5日、7月26日 +杉 が変更される可能性がありますので要確認 西:夏季休暇の指定される一日と、演習+授業への参加度30%、 試験は、13~15回目(夏季休暇)と同じ	レポート及び試験
教材 教科書 参考書	星野欣生[監修] 船木幸弘[著] 『Off	JTに活用する 人間関係づくりトレーニング』	
留意点	ありのままの自分と向き合い、自己の原 講義では、書く・考える・原	或長を毎時考えてほしい。 惑じるを意識し、「かかわる」ことの大切さに留意しましょう	

科目名	こころと疲労		科目 コード	W21025	単位数時間	2単位	対象学年	2年	開講学期	後期		
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	£	吉岡 利忠			授業形態	講義	単独		
授業の 概要	我が国の経済・産業構 このような中、仕事や 心の健康の保持増進が	職業生活	活に強いる	下安、なやみ、ストレス	スが生じ、				- 1			
	様々な刺激により生体 を身につける。	に生ずん	るストレス	くやそれによって生じる	る疲労について	ご理解し、2	ストレス	や疲労に	適切に対応	さする能力		
				授業計	画							
回	主 題	Į.		授業内容	ド(授業時間外	の学修を含	さむ)		1	備考		
第1回	ストレスとは I			ストレスの概念								
第2回	ストレスとはI			生体とストレス								
第3回	疲労とはI			疲労と生体								
第4回	疲労とはⅡ			疲労発生のメカニズム	. I							
第5回	疲労とはⅢ			疲労発生のメカニズム	. II							
第6回	心の健康づくり(メン	タルへ	ルス) I	心の健康づくり計画								
第7回	心の健康づくり(メン	タルへ	ルス)Ⅱ	心の健康づくり計画と問題点								
第8回	心の健康づくり(メン	タルへ	ルス)皿	心の健康づくり計画とプライバシー								
第9回	メンタルヘルスケアI			事例 I								
第10回	メンタルヘルスケアⅡ			事例Ⅱ								
第11回	メンタルヘルスケアⅢ			事例Ⅲ								
第12回	ストレスチェック制度	Ι		ストレスチェックの詩	羊細							
第13回	ストレスチェック制度	П		ストレスチェックの詩	羊細から判定で	きること I						
第14回	ストレスチェック制度	Ш		ストレスチェックの詩	羊細から判定で	きることⅡ						
第15回	総括			まとめと振り返り								
評価 方び 評価 基準	課題レポートによる評価(100%)											
教材 教科書 参考書	講義時に必要なプリントを配布											
留意点	気 配布するレジュメやプリントを参考に。											

科目名	障害者の生涯学習【2017年度入学生】 /生涯学習 【2016年度入学生】		科目 コー ド	W21016 /W21017	単位数 時 間	2単位 30時間	対象学年	1年	開講学期	後期	
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	2	立花 茂樹	• 佐	藤眞一		授業形態	講義	複数

[キーワード: 障害者、学びの主体、共生社会、生涯学習、地域連携]

本講義は身体障害者福祉司の指定科目である社会教育、とくに障害者の生涯学習に関する知識を修める2単位科目として開 講する。

授業の 概要

・ 障害のある人の生涯にわたる教育権・学習権は国際的なレベルでも確認されている。たとえば、障害者権利条約の第24 条 5 項では「締約国は、障害のある人が、差別なしに、かつ、他の者と平等に高等教育一般、職業訓練、成人教育及び生涯学習の機会を与えられることを確保する」と規定されている。移動手段の困難さ等を乗り越えながら、障害のある方の生涯学習の活動への参加、学ぶ機会の拡大を目指すためにはどうすればよいか、一緒に考え、学んでいきたい。

到達 目標

障害のある方々の生涯学習を通じた社会参加の現状を理解し、「障害者の生涯学習」の推進・充実に向けた取り組みにつ いて意見交換できる。

授業計画

	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	オリエンテーション 障害者と成人教育及び生涯学習	・生涯学習の歴史と「障害者の生涯学習」に関する文部科学省 の取組を知る	課題「私の見つけた 障害者の生涯学習」
第2回	障害者権利条約と生涯学習	・教科書の「学ぶ権利としての生涯学習」を読み、学ぶ権利に ついて意見交換する	
第3回	当事者の声を聴く	・教科書の「友だちと学ぶのは楽しい」を読み、障害者自身の 思いを受け止める	
第4回	障害者でつくるサークル活動と学び	・社福法人「共生シンフォニー」の取り組みを通して、障害者 でつくるサークル活動と学びについて意見交換する	
第5回	私の見つけた障害者の生涯学習	・文献、インターネット等で見つけた「障害者の生涯学習」の 取り組み事例を発表・意見交換する	学生による発表
第6回	障害者によるボランティア活動	・「障がい者によるボランティア活動」に関する論文を読み、 障害者の行うボランティア活動を考える	
第7回	障害者と公民館	・各地で行われている青年学級の取組を通して、障害者の生涯 学習の場としての公民館の働きを知る	
第8回	障害者と博物館	・視覚障害者の「触って観る」ことに関する論文を読み、誰で もが楽しめるユニバーサルな博物館について考える	
第9回	特別支援学校における	・「卒業生の会」の活動の理解と支援	
第10回	「卒業生の会」の活動	・グループ討議を通して活動上の課題を整理し、支援のあり方 について学ぶ	
第11回	筋ジストロフィー症の人たちの	・「作品展」の活動の理解と支援	
第12回	「作品展」の活動	・グループ討議を通して活動上の課題を整理し、支援のあり方 について学ぶ	レポート課題提示
第13回	知的障害のある成人の	・「生涯学習グループ(ピュアフレンズ)」の活動の理解と支援	
第14回	「生涯学習スクール」の活動	・グループ討議を通して活動上の課題を整理し、支援のあり方 について学ぶ	
第15回	まとめ	・「障害のある人々の生涯学習の保障と拡大」をテーマとした レポートの発表	レポート発表

評価 方法 及び

- ○レポート70%、講義への参加態度30%で評価する。 ・レポートでは、到達目標に関する課題を出し、【知識・理解】及び【問題解決の思考・判断】の観点から評価する。 ・参加態度については、講義時の積極的な発言や発表を求め、【科目への関心・学習意欲・受講態度】【技能・表現方 法】の観点から評価する。
- ○自分の考えを論理的に記述または発表できるように講義は集中して聴くようにお願いしたい。

教材 教科書 参考書

評価

○教科書:田中良三・藤井克徳・藤本文朗編著(2016)『障がい者が学び続けるということ』新日本出版社 そのほか、随時プリントを配布する。

- 〇レポート課題は学習範囲から網羅的に出題するので、毎回出席するよう心掛けてほしい。
- ○授業計画にある主題及び授業内容に関する予習・復習に努めること。 留意点

				,			ı					
科目名	日本国憲法A	科目コード	W21007	単位数時間	2単位	対象学年	2年	開講学期	前期			
区分	社会福祉学支援科目 必修	担当者名	大	野拓哉	0011, [6]		授業形態	講義	単独			
	教職科目 必修						TD NS					
授業の 概要	「日本国憲法A」および「 「日本国憲法A」では、まず 成される「国会」について学	、民主主義の	│ 3」を通じて、日本国憲 統治の基本原理を学び	法が規定す 、その後、	「る統治機構 統治の機構	構に関す 構として	 る体系的な の「国民」	は理解を 1 やその(杉成する。 弋表者で構			
到達目標	日本国憲法が近代以降の立 統治機構に関する深い知識を			りと理解し	ン、基本的 /	人権を保	障するため	かの仕組む	みとしての			
			授業計画									
0	主 題		授業内容(担	受業時間外	の学修を含	(t		•	備考			
第1回	統治の基本原理①	民	主主義									
第2回	統治の基本原理②	Γ	「主権」概念の形成と展開									
第3回	統治の基本原理③	国	国民主権									
第4回	統治の機構 I	国	民①~「国民」の要件									
第5回	統治の機構 I	围	国民②~「国民」の位置									
第6回	統治の機構 I	国	国民③~「国民」の権能									
第7回	統治の機構Ⅱ	国	国会①~国権の最高機関									
第8回	統治の機構Ⅱ	国	国会②~唯一の立法機関									
第9回	統治の機構Ⅱ	国	会③~国会の構成									
第10回	統治の機構Ⅱ	国	会④~国会の権能									
第11回	統治の機構Ⅱ	国	会⑤~議院の権能									
第12回	統治の機構Ⅱ	国:	会⑥~議員の地位と特権	E								
	統治の機構 II		会⑦~国会と内閣の関係									
	統治の機構Ⅱ		会⑧~国会と裁判所の問	具係								
第15回	総括	ま	とめと振り返り									
評価 方び 評基 基準	試験(前期試験)のみ											
教材 教科書 参考書	特に指定しない											
留意点	憲法の条文をその場で参照できるよう、準備をしておくこと。											

	T			T	1	ı							
科目名	日本国憲法B		科目 コード	W21008	単位数時間	2単位	対象学年	2年	開講学期	後期			
						30時間							
区分	社会福祉学支援科目 教職科目	必修 必修	担当者	名	大野 拓哉 授業 形態								
授業の 概要		、内閣、	裁判所、	│ まB」を通じて、日本国憲 地方自治の順で、日本国									
到達目標				憲法が近代以降の立憲政治 □関する深い知識を自己の				りと理解	し、基本的	り人権を保			
				授業計画	Ī								
回	主 程	I		授業内容(授業時間タ	トの学修を含	む)		1	備考			
第1回	統治の機構Ⅲ			内閣①~行政権とその帰	内閣①~行政権とその帰属								
第2回	統治の機構Ⅲ			内閣②~内閣の組織									
第3回	統治の機構Ⅲ			内閣③~内閣の権能									
第4回	統治の機構Ⅲ			内閣④~大臣の権能									
第5回	統治の機構Ⅳ			裁判所①~司法権とその	帰属								
第6回	統治の機構Ⅳ			裁判所②~司法権の範囲	と限界								
第7回	統治の機構Ⅳ			裁判所③~裁判所の種類と構成									
第8回	統治の機構Ⅳ			裁判所④~裁判所の権能									
第9回	統治の機構Ⅳ			裁判所⑤~違憲審査制度									
第10回	統治の機構Ⅴ			地方自治①~地方自治制度									
第11回	統治の機構Ⅴ			地方自治②~条例制定権	の範囲と随	界							
第12回	統治に関する諸問題①)		憲法保障									
第13回	統治に関する諸問題②)		緊急事態									
第14回	統治に関する諸問題③)		地方分権									
第15回	総括			まとめと振り返り									
評価 方及 評基 基	試験(後期試験)のみ												
教材 教科書 参考書	特に指定しない												
留意点	憲法の条文をその場で	憲法の条文をその場で参照できるよう、準備をしておくこと											

科目名	社会政策論		科目	W21013	単位数	2単位	対象	3年	開講	前期
14 12 12	11. 五以从		コード	W21013	時間	30時間	学年	37	学期	FII 79 1
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	松	本 悦子			授業形態	講義	単独
	「キーワード: 社会	• 労働 •	生活]							

| 14-リート: 社会・労働・生活 | 社会政策は、資本主義経済の発展に伴い、様々な社会問題が顕在化したことで成立してきた。近年では格差や貧困の深刻 | 投業の | 化、非正規雇用の増加などが注目を集め、より多くの視座から社会政策を論じる必要が生じている。本講義では具体的な社 | 概要 | 会問題を取り上げながら、日常生活と深く関わる社会政策について体系的に学ぶ。

1. 社会政策に関する基礎知識を学び、日本社会の現状について理解を深める 2. 現代社会の課題について具体的に考える力を身につける

到達 目標

授業計画

	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	ガイダンス	本講義を受けるにあたって	
第2回	社会政策と日本社会の現状	日本社会の現状をふまえながら社会政策とは何かを理解する	
第3回	社会政策の歴史的展開	社会政策がどのような歴史的展開をとげてきたのか整理する	
第4回	労働時間と生活	現代社会において、労働時間の何が問題なのかを具体的に学ぶ	
第5回	働き方と社会政策	働き方について国際社会の取り組みから考える	
第6回	賃金と社会政策	賃金と社会政策の深い関係について学ぶ	
第7回	雇用・失業と社会政策	正規・非正規雇用の問題について具体的に考える	
第8回	労働と生活問題	労働と生活問題の結びつきについて理解を深める	
第9回	生活と保障	生活を支える保障について学ぶ	
第10回	労使関係の展開と労働組合	労働組合とは何か、労使関係とはどのようなものかを学ぶ	
第11回	男女平等政策と現代社会	男女の働き方と社会の取り組みについて考える	
第12回	現代の貧困と社会政策	貧困問題と労働を結びつけ、様々な角度から理解を深める	
第13回	高齢社会と社会政策	高齢社会で必要となってくる社会政策について学ぶ	
第14回	グローバル化と社会政策	国境を超える人の移動と労働について具体的に考える	
第15回	まとめ	現代社会における社会政策の重要性についてまとめる	

評価 方法 及び 評価 基準

授業への参加度20%、試験80% 到達目標(1)(2)に対応して、基本概念の理解を前提に、現実社会に対する批判的視座を試す問題を出す。 答案の構成や論理性を重点的に評価する。

教材

教科書 使用しない。必要に応じて資料を配布する。 参考書

留意点 授業の順番は必要に応じて入れ替わることがある。

	ſ												
科目名	雇用政策論		科目 コード	W21014	単位数 時間	2単位	対象学年	3年	開講学期	後期			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	^22 ±□											
区分	社会福祉学支援科目	選択必修	担当者名	· 鳴海 春輝 授業 形態						単独			
授業の 概要	現代の労働環境を学ん	ぶ。労働	法の基本	 的理解を深める。障害者	• 低所得者	の労働環境	を理解		爰の在り方	で学ぶ。			
到達目標				- 、障害者就労・生活支援 爰を組み立てていくことが		等の役割や 酢	记置され	ている専	門職につい	ハての理解			
				授 業 計 画	Ī								
0	主長	Ā		授業内容(受業時間外	の学修を含	(1		•	備考			
第1回	オリエンテーション			担当者の自己紹介、授業の進め方									
第2回	働くことの意味			就労支援と生活困窮者自立支援法の成立									
第3回	労働市場の変化			労働年齢期人口の減少、									
第4回	労働に関する法律			労働法規の動向、労働契	約のとらえ	.方、労使約	争解決	制度					
第5回	労働に関する制度			労働に関する公的保険(労災保険法	、雇用保険	(法)						
第6回	就労支援に係る法律			雇用対策法、職業安定法	、障害者雇	用促進法、	最低賃	金法等					
第7回	障害者の就労①			障害者の就労の現状、戦後からの障害者雇用									
第8回	障害者の就労②			障害者福祉施策における就労支援、レポート課題の提示									
第9回	障害者の就労③			障害者雇用施策における就労支援									
第10回	障害者の就労④			特別支援学校における就	労支援								
第11回	障害者の就労⑤			民間の取組み、諸外国の	取組み、レ	ポート提出	l						
第12回	低所得者と就労支援			生活保護受給世帯、母子	世帯、ホー	·ムレス、生	活困窮	者					
第13回	専門職の役割と実際			サービス管理責任者、就	労支援員、	職業指導員	、生活	支援員等					
第14回	就労支援の連携と実際	(1)		就労ニーズの把握、支援	計画の作成	:							
第15回	就労支援の連携と実際	(2)		連携の意義、ネットワー	クの有用性	、事例検討	<u> </u>						
評価 方び 評単 基準	・レポート提出:第8回目の授業の際、課題を複数題提示し、その中から1つ選択しレポートを作成する。第11回目の授業時間に提出する。成績評価の対象とし、配分は30%とする。 ・筆記試験:講義内容についての試験を実施する。成績評価への配分は70%とする。												
教材 教科書 参考書	新・社会福祉士養成講座18「就労支援サービス」[第4版]中央法規 *4月時点で最新版のもの												
留意点	日頃から、新聞に目を通しておくこと。												

5 1 D A	6-71-14 A		科目	Wolole	単位数	2単位	対象	0.75	開講	25 Hu	
科目名	行政法A		コード	W21015	時間	30時間	学年	3年	学期	前期	
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者		配内 健志			授業形態	講義	単独	
授業の 概要	[キーワード]; 「法律 	による	行政の原理	里」 「法の支配」 行政	去総論						
到達 目標				としっかりと理解できるよ でき、重要な論点を考える							
	ı			授業計画	Ī						
回	主題	•		授業内容(授業時間外	トの学修を含	(1a)			備考	
第1回	ガイダンス			行政法とは、どのような ついて、学ぶ。毎時間予				学ぶのかに		講義	
第2回	行政法の基礎理論、「	行政法	」の性格	憲法は変化していくが、行政法は存続する。が、戦後、大陸型に 英米型の行政法が混在することになった。「法律による行政の原 理」と「法の支配」論						講義	
第3回	「行政法」(の構造		「行政法基礎理論	」「内部行	亍政法」「 外	部行政	法」		講義	
第4回	「行政法」の基準	本的諸問	引題	公法と私法、特別権力		講義					
第5回	「行政法」の基準	本的諸問	引題	瑕疵ある行政行為の取消と無効、委任立法の限界、行政秩序罰						講義	
第6回	「行政法」の基準	本的諸問	引題	行政代執行、統治行為、抗告訴訟、訴えの利益						講義	
第7回	「行政法」の基準	本的諸問	引題	行政指導、集団訴訟と行政手続、官僚制と公務員の資質						講義	
第8回	「行政」村	概念		行政の控除説						講義	
第9回	「行政」村	概念		新しい行政概念構築の試みは成功していない。						講義	
第10回	「行政」村	概念		行政の任務の諸分野						講義	
第11回	「法律による行政の原 国家的変		その現代	O・マイヤ-	-の伝統的	「法律の支	配」論			講義	
第12回	「法律による行政の原 国家的変		その現代	現代国家的変容と本	質性理論 <i>の</i>)評価、及び	が国	の現状		講義	
第13回	「公法と私	法」		伝統学説と国家任務	8の増大・	変質、今日(の学説の	D状況		講義	
第14回	「行政法法	源」		行政法の成文法法	三義、不文:	法源の可否	論議の吟	今味		講義	
第15回	まとめ)		現代におけ	る行政法 <i>の</i>	日常性の再	確認			講義	
評価 方及 評基 基	まとめ 現代における行政法の日常性の再確認 現代における行政法の日常性の再確認 現代における行政法の日常性の再確認 定期試験評価80パーセント、平常点評価20パーセントとして評価する。到達目標に対応して、基本概念やに、現実社会に対する洞察力を試す問題を出す。答案の構成や論理性を重点的に評価する。										
教材 教科書 参考書	教科書は使わないが、参考書として、堀内健志『公法2新版行政法』(信山社)、藤田宙靖『行政法入門第7版』(有斐閣)、及びポケット六法(有斐閣)										
留意点	i 学説、判例などについて、最新の内容で展開するので是非講義内容に注目してほしい。										

		41 D		単位数	2単位	対象		88 2 th			
科目名	行政法B	科目コード	W21016	時間	30時間	学年	3年	開講 学期	後期		
区分	社会福祉学支援科目 選	択 担当者	X	堀内 健志			授業形態	講義	単独		
授業の 概要	キーワード;「地方自治・ 織法、行政救済法概観	分権」「改」	E行政事件訴訟法」「改ī	E行政不服 額	審査法」「彳	丁政手 続	 法」「情幸	B公開法 _.	」 行政組		
到達目標	学生が公務員試験や各種資 法、行政過程法、行政作用					また、	学生が行政	枚組織法、	、公務員		
			授業計	画							
	主題		授業内容	(授業時間を	の学修を含	な)			備考		
第1回	内部行政法		ガイダンス、毎回予習と	:復習をする	ことを期待	きする。			講義		
第2回	「行政法」規範の	政法」規範の分類 行政法を学ぶ上で、まずは、行態法と組織法、および内部法と外部法の区別をすることが便利である。							講義		
第3回	「行政組織法」		国家・国家機関・国	家公務員の		講義					
第4回	「国の組織」		行政主体として、国家		講義						
第5回	「行政機関」		内閣、内閣府、省・庁・ 政庁とその他の機関、						講義		
第6回	「地方自治・分権	重」	憲法上の地方自治と分権 上書き条例などの現代的 として町村総会・	問題点。地方	方公共団体の	事務・	権限、組織		講義		
第7回	「公務員法」		公務員の意義、権利・義務						講義		
第8回	外部行政法、個人的	勺公権	公権 国家に対して市民はどのようにして対抗するのか。国家・国民の法的関係。 個人的公権の分類・体系、反射的利益、私人の公的行為						講義		
第9回	「行政過程法」		行政の全プロセスをダイナミックに捉える。行政処分を中心に事 前と事後に分けて展開する。						講義		
第10回	「行政救済法概観」「行	「政争訟」	事後救済としての処分を 正行政不服審査法						講義		
第11回	「国家補償」		損失補償と国家賠償の制 戦争責任などの諸問題						講義		
第12回	「行政手続法」(情報公開 報保護法を含む)		事前手続としての行政引	-続法の検討 保護の現		報公開	と個人情報	ł	講義		
第13回	「行政作用法」「行政	女立法」	伝統的行政法学の中	□心であった	:行政作用法	を概観	する。		講義		
第14回	「行政行為」「行政	指導」	「行政行為」「行	政指導」な	どの概念・	性格を覚	≱ऽऽः。		講義		
第15回	まとめ		行政法はまことに今日市	5民として不 とを確認す		の法分	野であるこ		講義		
評方及評基 基準	定期試験評価80パーセント に、現実社会に対する洞察						赤本概念や記	語句の理解	解を前提		
教材 教科書 参考書	教科書は使わないが、参考書として、堀内健志『公法2新版行政法』(信山社)、藤田宙靖『行政法入門第7版』(有斐閣)、『ポケット六法』(有斐閣)										
留意点	学説、判	例などについ	いて、最新の内容で展開	するので是	非講義内容(こ注目し	てほしい。				

科目名	コミュニケーションとナラティヴ	科目コード	W21021	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講学期	前期		
				kd l⊞l	30時間	74		7-761			
区分	社会福祉学支援科目 選択	担当者名	吉岡 利忠・葛西	久志・大野	拓哉・松本	郁代	授業形態	講義	オムニバス		
授業の 概要	社会人として活躍でき、しかる方法を重視する。	も人間性を加	叩味した知識や技能を	備えた人材と	となる基本を	を講義す	⁻ る。特に、	人間関	係を形成す		
到達目標	社会におけるコミュニケーシ する。	・ョンスキルを	を身につける。社会に	おける対人間	関係を築く <i>†</i>	こめの原	「則論・手順	頁論・物	語論を学習		
			授業計	画							
0	主 題		授業内容	(授業時間外	の学修を含	(1			備考		
第1回	本科目の趣旨	科	 目についてのガイダ	ンス				吉岡・大	野・葛西・松本		
第2回	コミュニケーションとは	対	人関係を築くために	必要な態度					吉岡		
第3回	コミュニケーションスキルと	は対	付人関係を築くための技術・方略						吉岡		
第4回	ナラティブとは	=	ミュニケーションを	楽くために必	要な方法論	ì			吉岡		
第5回	三つの方法論	原	[則論・手順論・物語]	倫の詳細					吉岡		
第6回	法とコミュニケーション (1)		コミュニケーションを保障するもの						大野		
第7回	法とコミュニケーション (2)		コミュニケーションが保障するもの						大野		
第8回	コミュニケーション(各論①		自己理解 (エゴグラム)、自己開示(自由連想法、ジョハリの窓、自己・他者に対するイメージ)					!	葛西		
第9回	コミュニケーション(各論②		伝達トレーニング(サイレントトーク、他)、援助的人間関係(他者へのインターペンション)						葛西		
第10回	コミュニケーションとナラテ		i値交流学習(ある「特 はいを考える)①	勿語」を通し	て、自他そ	れぞれ	の価値観の		葛西		
第11回	コミュニケーションとナラテ		i値交流学習(ある「特 ないを考える)②	勿語」を通し	て、自他そ	れぞれ	の価値観の		葛西		
第12回	インタビューにおけるナラテ	ィブ 社	会福祉の歴史的研究に	こおけるナラ	ティブ				松本		
第13回	生活史把握におけるナラティ	ブ 生	活史の聴き取りをする	ることの意味	と食卓の回]想実践			松本		
第14回	物語を読むことの意味	社	会福祉実践記録や闘り	病記を読む					松本		
第15回	物語を読むことと書くこと	詩	み書きコントロール						松本		
及び	試験およびレポートにより評価する。教員の担当した時間数に応じて、点数を配分する。評価基準は、試験については客観式・短答式の場合、評価基準はとくに必要がなく、レポートについては、本学社会福祉学部で配布されているレポート執筆についてのガイドブックに沿った執筆であり、参考文献を挙げ科学的根拠を示したものについて、評価の対象となる。										
教材 教科書 参考書	野口裕二(2009)『ナラティヴ・アプローチ』勁草書房										
留意点	遅刻・私語厳禁										

					2単位					
科目名	民法総論	科目コード	W21017	単位数 時 間	30時間	対象学年	2年	開講学期	前期	
区分	社会福祉学支援科目 選択 社会福祉士指定科目 選択必修 精神保健福祉士指定科目 必修	担当者名		吉村 顕真			授業形態	講義	単独	
	民法は、私人間の生活関係を に大きく分けられます。とり 産法」に焦点を当てて、その 象とします。	わけ財産法に	はその範囲が広く、一i	通り理解する	ることが大変	どである	ことから	、この講	義では「財	
到達目標	民法(財産法)の全体構造を	理解する。碁	基本的な制度を理解す ∂	5.						
			授業計	画						
	主 題		授業内容	(授業時間ケ	の学修を含	(1		1	備考	
第1回	オリエンテーション、序論	授	業の概要、民法典の構	造など						
第2回	序論、契約の成立	民	法典の歴史、民法の大	、原則、契約	の成立					
第3回	契約の有効性	契	2約当事者・契約成立過	程における	意思表示の	規制				
第4回	契約の有効性	契	約成立過程における意	思表示・契	!約内容の規	制				
第5回	代理人による契約成立	ft	理総論、有権代理、無	! 権代理、表	見代理					
第6回	契約成立に伴う物権変動	物	権法の全体構造、不動	カ産・動産 <i>の</i>	物権変動、	対抗要	件			
第7回	契約の履行	IE	常な履行、履行過程に	おける牽連	関係					
第8回	契約の不履行	履	行の強制、損害賠償、	契約解除						
第9回	債権の回収	相	殺、債権譲渡							
第10回	債権の保全	債	権者代位権、詐害行為	取消権						
第11回	債権の担保	Д	的担保、物的担保							
第12回	時効による権利の得喪	時	勃総論、取得時効、消	Í滅時 効						
第13回	法定債権①	不	法行為の成立要件と効	果						
第14回	法定債権②	被	(告の抗弁、特殊の不法	行為						
第15回	法定債権③	不	当利得、事務管理							
評方及評基 基	期末試験70%、平常点30	点(リアクシ	ションペーパーなど) ⁻	で評価します	۲.					
教材 教科書 参考書	初回の授業までに指示する。									
留意点	民法の家族法に関しては、後期の「権利擁護論」の中で概説する。									

科目名	+ /	科目	W21018	単位数	2単位	対象	2年	開講	後期	
1400	権利擁護論	コード	W21018	時間	30時間	学年	24	学期	(反列)	
区分	社会福祉学支援科目 選択 社会福祉士指定科目 選択必修	担当者名	<u></u>	計 顕真			授業形態	講義	単独	
	精神保健福祉士指定科目 必修 この講義では、まず民法の家	佐法を概説し	た上で 特に成年後目	制度及バネ	それに関連で	ナス支撑	制度を詳し	く戦船	ていく	
授業の 概要	この時我では、より氏点の外	大人 で 帆 武 し	仁工(、村仁以牛皮元	型を及びで	(461〜国建)	<i>3</i>	で 子 で 子 で	ント記切り		
到達目標	民法の家族法の全体構造を理る。	解する。成年	後見制度の現況と将来	的課題を理	里解する。 原	戍年後見	.制度の基本	x的内容?	を理解す	
			授業計画	Ī						
0	主 題		授業内容(受業時間外	∖の学修を含	(t)		•	備考	
第1回	オリエンテーション、憲法概	説 授	業の概要、憲法総論、	基本的人権						
第2回	民法・親族法①	家	族法序説、氏と戸籍、	家事事件手	続法					
第3回	民法・親族法②	夫	婦関係:婚姻の成立と	効果						
第4回	民法・親族法③	夫:	婦関係:離婚の成立と	効果						
第5回	民法・親族法④	実	親子関係:親子の成立。	と効果						
第6回	民法・親族法⑤	実	親子関係:生殖補助医網	寮による親	子関係					
第7回	民法・相続法①	法	定相続							
第8回	民法・相続法②	遺	<u> </u>							
第9回	成年後見制度①	成	成年後見制度の沿革及び現況など							
	成年後見制度②	法	定後見							
第11回	成年後見制度③		意後見							
	成年後見制度④		年後見制度利用支援事							
	日常生活自立支援事業		援事業の内容、生活支持 			の役割				
	権利擁護に関連する諸法		神保健福祉法、高齢者							
第15回	権利擁護に係る組織と団体	裁	判所、法務局、社会福 ————————————————————————————————————	业協議会、	成年後見り	ーガル	サポート 			
評価 方及 評基 基	期末試験70%、平常点30点(リアクションペーパーなど)をもとに評価します。									
教材 教科書 参考書										
留意点	「民法総論」を履修しておく	こと。								

科目名	大学生のためのソーシャ	ルスキル	科目 コード	W21022	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講学期	前期
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	i 松本	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			授業形態	講義	オムニバス
授業の 概要	ソーシャルスキルを定	Z義した・	うえで、社	会の中で生きていく際	に必要とされ	れる問題解決	央や対処	しの仕方に	ついて、	講義する。
到達 目標	社会性を身につけた、	当たり育	前の大人に	なること。						
				授 業 計	画					
0	主题	Ā		授業内容	(授業時間タ	トの学修を含	む)			備考
第1回	ソーシャルスキルとは	は何か	1111	講義計画、ソーシャルス	スキルの定義	100				松本
第2回	ソーシャルスキルの基	礎知識		ソーシャルスキルと対。		松本				
第3回	7つの基本的なソーシ	ャルスキ	・ル	ノンバーバルコミュニケ	バーバルコミュニケーションとは					
第4回	真似したいノンバーバ	バルな要素	素 .	ノンバーバルコミュニケ	アーション攻	攻略法				松本
第5回	真似したくないコミ	ュニケー	-ション :	コミュニケーション禁作	可集		松本			
第6回	良い話相手になるため	のスキル	I	自慢話だけではないコミュニケーション						松本
第7回	良い聴き手になるため	のスキル	IV f	類くだけではないコミ <i>:</i>	ュニケーショ	コン				松本
第8回	つまずいた時のソーシ	/ヤルス=	キル .	人間関係に悩む時、友ん	しからのサオ	ポートを受け	たい時			松本
第9回	リアクションは、社会	€人の第-	一步	教職員とのコミュニケーションの注意点						松本
第10回	報告は、社会人の基本	ξ.	į	受講のマナーと相談後の) デューティ	· _				松本
第11回	挨拶が出来ますか		1	研究室を訪れる時のマラ	+ —					松本
第12回	ハラスメントの基礎知	〕識		学生から教員へのハラス る	スメントも反	対立すること	を含め	て、講義	र्	松本
第13回	危険回避のためのソー	-シャル	スキル	不当請求・架空請求・ス	下法侵入の危	达 険回避				松本
第14回	情報リテラシーのため	のスキル		インターネット・コミ <i>:</i> ル	ュニケーショ	ンにおける	ソーシ	ャル・ス	+	坂井
第15回	社会人になるためのソ	ノーシャノ	ルスキル i	面接のテクニックだけで	で就職できる	らのか?				松本
評価 方及び 評価 基準	: 各講義における小テスト(短答式・客観式)を積みあげて、評価する 									
教材 教科書 参考書										
留意点	遅刻・私語厳禁。講義 に予定しているが、詳			して、この二つは最低 せる。	限のソーシ	ャルスキル。	坂井担	当部分に	こついては	、6月ごろ

科目名	心理学A		科目 コード		W23007	単位数時間	2単位 30時間	対象学年	2年	開講学期	前期
	社会福祉学支援科目	選択							授業		
	社会福祉士指定科目 精神保健福祉士指定科目 教職資格(高一種【公民】)	選択必修 選択必修 必修	担当者	名	佐〃	々木 正晴			形態	講義	単独

人間行動の基礎課程である心の活動を探索する.心理学研究史を概観し、その意義、方法論を探り、看護活動や福祉活動など現場領域を視野に入れ、脳と心の関係、感覚・知覚、欲求・行動の成り立ちを探る.学習・記憶、言語・思考、情動・動機づけ、発達・学習、パーソナリティ、対人関係・社会行動など、実験論文を通して、人間行動を総合的に考える
1. 基本概念と語句を理解すること
2. 実験の方法と結果を予測する力をつけること
3. 心の活動についてじぶんの答えを見つけること

目標

<u> </u>	主題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	心理学の歴史と方法	心理学誕生の経緯、その方法の由来を知り、学問の成り立ちを考え る	
第2回	心の活動の定義	心の活動を5種類に分け、それぞれ具体例を挙げ、心の活動を定義する	
第3回	感覚・知覚の世界:逆さに見える世界	逆さに見えるめがねをかけ、この実験の由来と意味を考える	
第4回	感覚・知覚の世界:初めて見る世界	一定の生活歴を経てから初めてこの世界を見た人たちの実例を見る	
第5回	記憶のメカニズム:記憶術名人の苦悩	記憶機能に関わる実験例を見、「記憶の名人」の苦悩について考える	
第6回	言語の成立と機能:言語機能障害	ことばをうまく話せないこどもたちに対する形成実験例を挙げる	
第7回	学習意欲の崩壊:ひきこもり	勇気、意欲、希望:学習意欲が失われる実験例について考える	
第8回	学習意欲の芽生え:挑戦する人たち	勇気、意欲、希望:学習意欲が成り立つ条件について考える	
第9回	情動、感性、動機:気持ちを変える	気持ちが変化したり、芽生えたり、それを示す実験例を挙げる	
第10回	発達、学習:未知の世界に喜ぶこども たち	発達、学習、操作:働きかけると機能が変わる. 実験の具体例	
第11回	性格・人格・行動:個性に悩む人たち	性格・人格・行動:性格検査、適性検査を実施し、自己を考える	
第12回	対人関係と社会:お金持ちの最適戦略	お金持ちになる戦略を巡る実験を見、人との関わりについて考える	
第13回	脳と心の関係性:大脳には心理機能の 地図	大脳の心理機能地図、リハビリから脳と心の関係性について考える	
第14回	脳と心の関係性:脳損傷と機能形成	脳損傷者の機能形成臨床例から脳と心の関係性に着いて考える	
第15回	総括	心の活動について受講生ひとり一人が絵を描く	
評価 対 が が 基準	平常点評価50%, レポート50%. 毎回0 小レポートの内容や授業中の受	D授業で小レポートを課する. 講態度等を総合して平常点とする. 翌週提出する(自学)大きなレポート テーマに応じて論理的に構成されているかを評価する	は, 3回.
教材 教科書 参考書		なし. プリント配布	
留意点		心を込めてレポートを書くこと	

		科目			単位数	2単位	対象		開講		
科目名	心理学B	17 D		W23008	時間	30時間	学年	2年	学期	後期	
区分		表表	×.87	<i>ı</i> +-	5十 元吨			授業	誰 差	₩ XΨ	
巨刀	精神保健福祉士指定科目 教職資格(高一種【公民】) 選択	R必修 R必修 分修			々木 正晴			形態	講義	単独	
授業の 概要	心の活動という現象を脳心と脳の関連性を捉えよう 講では、見る活動と近年の	うとする研究	が飛躍的	内に増大している.	しかし両者	皆の関連性だ	が十分に	解明され:			
到達 目標	1. 実験の方法や結果を予測 2. 見る活動と脳の活動の限			<u> </u>							
				授 業 計 画							
	主 題			授業内容	(授業時間	外の学修を	含む)			備考	
第1回	脳の構造と働き:医学/5	生理学領域	医学的	関点から脳の構造	と働きを学	<u>-</u> ぶ					
第2回	脳損傷:大脳認知地図の4	犬況	脳損傷	弱者の大脳認知地図(の臨床例か	ら、脳と心	の関係	性を探る			
第3回	脳機能と動物実験		人に対	けしてはできない脳	を操作する	実験が動物	で行わ	れている			
第4回	脳に損傷を受けたひとたち	に損傷を受けたひとたち 一定の生活歴を経てから脳に損傷を受けたひとたちの状況を紹介する									
第5回	見る活動:静止網膜像の乳	実験	見る活	見る活動を支える生理学的基礎:静止網膜像の実験							
第6回	見る活動:視覚と触覚の乳	実験	見る活	動と触る活動に乖	雛が生じる	と:視覚と	:触覚の	実験			
第7回	脳と心の関係:両者間の個	憂位性	これま	でを総括し、脳と	心の関係性	≤/優位性に	ついて	考える			
第8回	脳に損傷を受けた人たちの	の機能形成	脳が壊	寝れても機能は形成	されるRewi	inの臨床報	告. Sada	atoの実験	報告		
第9回	脳と心の関係:両者間の個	憂位性	改めて	(、脳と心の関係性)	/優位性に	:ついて考 <i>え</i>	_る				
第10回	こどもにおける見る活動の	の障害と形成	見る活	話動:方向弁別と形の	の知覚実験	Ì					
第11回	脳損傷者における見る活動 成	動の障害と飛	脳損傷	『実験: Yagiの実験	険報 告						
第12回	見る活動の障害と形成		これま	での事例から見る	舌動の障害	と形成につ	いて総	合的に考え	える		
第13回	行動障害状況の打開		行動的	1障害状況に応じた	幾能形成の)原理を探る	·				
第14回	脳と心の関係性の結論		脳と心	›の関係性/優位性(こついて総	合的に考え	<u>-</u> る				
第15回	総括		心の活	動について受講生で	ひとり一人	が絵を描く					
評価 方及 評基 基	平常点評価50%, レポー 小レポートの内容		受講態度	で小レポートを課す 等を総合して平常点 ·マに応じて論理的/	iとする.				は, 3回.		
教材 教科書 参考書	書 なし. プリント配布										
留意点				心を込めてレポー	トを書くこ	٤					

科目名	政治学(国際政治を含	>+~) v	科目	W22001	単位数	2単位	対象	1年	開講	前期
144 11 11	政日子(国际政日で日	(C) A	コード	W 22001	時間	30時間	学年	1+	学期	刊初
1000	社会福祉学支援科目	選択	担当者名		市 古公			授業	講義	単独
区分 	教職科目(中一種【社会】)教職科目(高一種 【公民】)	選択必修 必修	担ヨ有名	1	東克介			形態	神我	平/虫

受講者には以下の3点の「答え」をを相応に理解してもらえればと思う。
・なぜデモクラシー(民主主義)は悪魔にもなりうるのか。
・なぜ政治や権力が人間の社会に不可欠なのか。
・江戸幕府までの政治組織と近代行政官僚制ではどこが異なるのか。

到達 目標

	T	T	
	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	本講義概要・展開方法・試験等につい て	さらに、出欠や感想文とレポートの違い等の説明も行う。	
第2回	政治とは何か	学生に今までの理解で「政治」について知っていること、思っていること、感じていること等を用紙に書いてもらう。これを回収して西東がコメントしていく。	
第3回	権力とは何か・権威とは何か	M. ウェーバーの支配(権力)の正当性を使い、私たちの国・地方・コミュニティ・世界に存在する権力と権威について解説する。	
第4回	政治的意識と政治的無関心	政治的意識と政治的無関心を類型化して解説する。	
第5回	マス・メディアと政治	民主主義体制における政治家とマス・メディアには基本的に価値 観の対立がある。	
第6回	民主主義	民主主義体制のメリットとデメリット。民主主義体制以外の独裁 体制のデメリット。	
第7回	日本の集団主義文化と米国の個人主義 文化と	集団主義文化や個人主義文化は慣習であるが、日本の学校の集団 重視教育のように、制度に取り入れらている集団主義文化も存在 する。私たちのこうした慣習は集団や組織にとってメリット・デ メリットの双方が現れる。KYも良かれ悪しかれ集団主義文化であ る。具体例をあげながら、日米の文化について分析していく。	
第8回	18歳選挙権と参政権	18歳選挙権はすべての政党が賛成して決定された。そもそも日本 国憲法第16条には請願権があり、議会や行政に対して一定の手続 きはあるものの、国籍や年齢に関わらず意見を述べることができ る。この権利と選挙権・被選挙権の違いについて考察する。	
第9回	国際政治を理解するための基礎知識 (1)	国際政治における権力・条約・国際連合の関係	
第10回	パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1)	NHKのドキュメタリー番組の鑑賞	
第11回	パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2)	パレスチナ・イスラエル問題の歴史を見ていく。ユダヤ社会とア ラブ社会の歴史を概説する。	
第12回	官僚制理論(1)	官僚制理論の基礎を考察していく。M.ウェーバーの推定した組織 された社会の進行は今も続いている。こうした社会のメリット・ デメリットを考えたい。	
第13回	官僚制理論(2)	行政官僚制による「天下り」問題と集団主義文化	
第14回	リーダーシップと水平的集団主義文化	戦後我が国社会は垂直的集団主義文化から水平的集団主義文化に 変わりつつある。だが、この水平的集団主義文化のデメリットは リーダーを生み出しにくい文化とも言われる。個人・集団・組織 の自律・自立の視点を加えてこの問題を考察する。	
第15回	制度と慣習	M. ウェーバーは、制度の理論に文化を絡ませて研究業績を残した。そうした彼の研究の一部をヒントにした分析を解説する。	
評方及評基 基準	レポート (50%) と試験 (50%) 。文章(の構成と論理性を中心に評価する。	
教材 教科書 参考書	教科書:橋爪大三郎著『政治の教室』』 の現在』北樹出版、2300円。	講談社学術文庫、840円。レポート課題図書兼教科書:土岐寛編著『	行政と地方自治
留意点	講義中	中や講義後での質問・感想に遠慮は必要ありません。	
	1		

科目名	政治学(国際政治を含	ite)B	科目	W22002	単位数	2単位	対象	1年	開講	後期
	MIT (CIMMITCE	3,2	コード		時間	30時間	学年	- 1	学期	2791
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名		古 古众			授業	講義	単独
	教職科目(中一種【社会】)教職科目(高一種 【公民】)	選択必修 必修	担当有在	<u>1</u>	東 克介			形態	神我	平独

「キーワード:人権」政治学Bは、政治学Aを基礎編とすれば応用編とも言える。民主主義体制の国では、日本国憲法第12条に示されているように、国民の「不断の努力によって」自由及び権利を保持するのである。怠けていては保持されないことがあるかもしれない。どの国にも差別の問題が存在するが、その改善には長い長い年月がかかっている。我が国の平和も日本人やアジア人の多くの命が奪われた結果の後の努力により維持されている者である。私たちが努力していく方向を探るために、前期で学んだ基礎的知識を下に、さらに具体的に考察できる知識を学んでいきたい。

到達 目標 ・完全な答えはないが、未来を切り開く自分や周囲の「ミッション」と活動とは何かを考えていく。 ・受講者には、この「答え」をああでもない、こうでもないと考え続けていくことができればと思う。

授 業 計 画

回	主題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	本講義・展開方法・試験等について	さらに、出欠、感想文とレポートの違いについての確認。	
第2回	黒人差別の歴史的展開	米国黒人差別の歴史を植民地時代から19-20世紀までの概説する。	
第3回	公民権運動の動画鑑賞(1)	1950年代から1960年代までの公民権運動を撮影したものを再編集した動画の鑑賞。	
第4回	公民権運動の動画鑑賞(2)	前回の続き	次週までに黒人差 別問題について感 想文を受講者に書 かせる。
第5回	M. ウェーバーの政治家としての資質	M. ウェーバーの述べた政治家の資質は、政治の独特の問題への対応を除けば、あらゆる組織のリーダーにとって不可欠なものである。受講者にとって多少難解な点もあろうが、リーダーはリーダーの周囲との人間関係において成長し、周囲の人間もこれにより成長していく。良き方向に進むのか、悪い方向に進むのか。このことをリーダーと周囲の人間は、常に配慮する必要がある。	
第6回	議院内閣制・大統領制とリーダーシッ プ	議院内閣制と大統領制の分析とリーダーシップの関係について考察する。	
第7回	圧力団体・公益法人・NPO	圧力団体・公益法人・NPOを概説し、メリット・デメリットを分析する。	
第8回	文民統制・自衛権・集団安全保障	民主主義国家における文民統制の理解、日本国憲法第9条と個別的自衛権・集団的自衛権、双方の自衛権と国連の集団安全保障概念を理解する。	
第9回	日本の政策過程	日本の政策過程について、1955以来形成されてきたパターンを分析・解説する。	
第10回	NGOとNPOのミッション	(NGOを含む) NPOの企業や行政とは異なる特徴は何か、また、そのミッションとは何か。これらを中心に考察する。	
第11回	NGOとNPOの機能と構造パターン	(NGOを含む) NPOの機能と構造パターンから、そのメリット・デメリットを考察していく。	
第12回	行政学史(1)	現代行政学は米国で生まれた。その発生の原因と新しい学問に影響を与えた学問の基本的知識の理解。	
第13回	行政学史(2)	現代行政学のパラダイムは「政治と行政の分離」である。だが、 このパラダイムは批判されるが、行政学はこれにより徐々に発展 していく。正統派行政学についての理解を求める。	
第14回	行政学史(3)	バーナードとサイモンが行政学に与えた基本的な学説の理解。	
第15回	社会科学と政策科学(公共政策論)	社会科学と政策科学の違いと共通点に関する理解。	
評価方法			

:方及評基

レポート1回(50%) と試験1回(50%) 文章の構成と論理性を中心に評価する。

教材 教科書 参考書

教科書:橋爪大三郎著『政治の教室』講談社学術文庫、840円。レポート課題図書兼教科書:土岐寛編著『行政と地方自治の現在』北樹出版、2300円。

留意点

	I				Г		ı				
科目名	経済学(国際経済を含む)A	科目コード	W22005	単位数時間	2単位	対象学年	2年	開講学期	前期		
		_ '		F-V [H]	30時間	, ,		1 701			
区分	社会福祉学支援科目 選択	担当者名	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	冨田 進治			授業	講義	単独		
E.77	教職科目(中一種【社 会】)教職科目(高一種 【公民】)		₩ 世					1174%	十五五		
授業の 概要	近代以降のヨーロッパ経済 業績を学びながら、経済学の			スミス、「	Jカード、 [、]	マルクス	.、マーシ	ヤル、ケイ	インズ)の		
到達 目標	経済学の基本的課題、基本	的概念、基本	s的主張を理解すること	き目指しる	ます。						
			授業計画	Ī							
	主 題		授業内容(授業時間タ	の学修を含	(1 1		1	備考		
第1回	序論		授業の目的、概要、方	法について	∶説明します	•					
第2回	重商主義の時代		アダム・スミスの時代と生涯について学びます。								
第3回	市場メカニズム		アダム・スミスの価格理論と成長理論について学びます。								
第4回	小さな政府		アダム・スミスの経済	政策と夜警	国家につい	て学び	ます。				
第5回	産業革命の時代		リカードの時代と生涯	について学	びます。						
第6回	国際貿易の原理		リカードの国際貿易論	と比較優位	の概念につ	いて学	びます。				
第7回	階級闘争の時代		マルクスの時代と生涯について学びます。								
第8回	資本主義の構造		マルクスの資本主義と剰余価値の把握について学びます。								
第9回	資本主義の歴史		マルクスの資本主義の	歴史理論に	ついて学び	ぎます。					
第10回	ヴィクトリア時代		マーシャルの時代と生	涯について	学びます。						
第11回	市場経済の理論		マーシャルの需給均衡	と市場経済	fの理論につ	いて学	びます。				
第12回	大恐慌の時代		ケインズの時代と生涯	について学	びます。						
第13回	失業の原因		ケインズの雇用理論と	貨幣理論に	ついて学び	ぎます。					
第14回	福祉国家の形成		ケインズの経済政策と	福祉国家の	形成につい	て学び	ます。				
第15回	まとめ		授業の内容を振り返り	、経済学の	歴史につい	て考え	ます。				
評価 方及 評価 基準	1) 平常評価 (50%) : 毎 受講態度と学習意欲、授業の 2) 期末評価 (50%) : 期ま よって論理的に説明する能力	理解度を評価 末試験を実施	fiします。 します。授業全体の理	_							
教材 教科書 参考書	(参考書) 八木紀一郎『経	済思想』(第	52版)日本経済新聞出	版社、2011	年						
留意点											

			TI D		336 E L 36E	2単位							
科目名	経済学(国際経済を含	む)B	科目コード	W22006	単位数 時間	30時間	対象	2年	開講 学期	後期			
区分	社会福祉学支援科目 教職科目(中一種【社会】) 教職科目(高一種【公 民】)	選択必修必修	担当者名	i	福田 進治			授業形態	講義	単独			
受業の 概要	現代の資本主義経済	の構造の	とマクロ経	済政策の効果を学びな	がら、今日の	の日本経済で	E めぐる	諸問題に	ついて考え	えます。			
到達 目標	現代経済の基本的メ	カニズ	ムと、日本	経済の現状と課題を理	解することを	を目指します	۲.						
	ı			授業計	画								
	主 題	i		授業内容	(授業時間を	の学修を含	な)		1	着考			
第1回	序論			授業の目的、概要、ス	方法について	説明します	•						
第2回	日本経済の動き			戦後の日本経済の動き	きと経済政策	の考え方に	ちについて学びます。						
第3回	マクロ経済分析			現代経済の構造と理論的把握の方法について学びます。									
第4回	失業の原因			失業の定義、概念、原	原因について	学びます。							
第5回	総生産の決定			総生産 (GDP) の定義	、総生産の	決定の原理に	こついて	学びます	- 0				
第6回	財政政策の効果			政府の役割と財政政策	策の効果につ	いて学びま	す。						
第7回	財政赤字と失業			財政政策の運用と限	早について学	びます。							
第8回	貿易の効果			貿易の国内経済に対する影響と関税の問題について学びます。									
第9回	為替レート			為替レートの決定と約									
第10回	投資の決定			金融市場の役割と投資の決定の原理について学びます。									
第11回	金融市場の役割			利子率の決定と資産	選択の原理に	:ついて学ひ	ます。						
第12回	金融政策の効果			中央銀行の役割と金融	触政策の効果	について学	びます	0					
第13回	物価の変動			物価変動の原因と影響	響、金融政策	の限界につ	いて学	びます。					
第14回	経済成長の戦略			経済成長の戦略の今後	後の日本経済	の課題につ	いて学	びます。					
第15回	まとめ			授業の内容を振り返り	り、日本経済	について考	えます	0					
評価 方及 評価 基準	受講態度と学習意欲、	授業の野 : 期末	理解度を評 試験を実別	^{拖します。} 授業全体の ^理									
教材 教科書 参考書	(参考書) 塚崎公義	参考書) 塚崎公義『よくわかる日本経済入門』(増補改訂版)朝日新聞出版、2015年											
留意点													

			ti D		334 1 L MIL	2単位	11.00		00 -#-	
科目名	法学(国際法を含む	A)A	科目コード	W22007	単位数 時 間	30時間	対象 学年	1年	開講 学期	前期
区分	社会福祉学支援科目 教職科目(中一種【社 会】)教職科目(高一種 【公民】)	選択 選択必修 必修	担当者名	B	大野 拓哉			授業形態	講義	単独
授業の 概要				ノ(社会規範) について	、他の社会規	見範とも比算	咬しつつ	、その特	色や存在す	形態などに
到達 目標	自立した一個人とし 立場の人々と関わる際	て「法 ₋ に、それ	」と向き合 れらの人々	合い、「法」を用いてい マの権利や利益を適切に	ける基礎を負 擁護し得る基	楽くことは: 基礎として(もとより の知識や	、将来、 理解の形	援助者と 成を目指 ^っ	して不利な す。
	<u> </u>			授業計	画					
0	主題	Ī		授業内容	(授業時間を	の学修を含	さむ)			備考
第1回	「法」とは何か①			社会生活における「法」	l					
第2回	「法」とは何か②			「法」の存在形態						
第3回	「法」とは何か③			「法」は誰がつくるのが	_ታ					
第4回	「法」の種類①			民事砲と刑事法						
第5回	「法」の種類②			公法と私法						
第6回	「法」の種類③			実体法と手続法						
第7回	「法」の種類④			国家法と自治法						
第8回	「法」の種類⑤			市民法と社会法						
第9回	「法」の実現①			「法」の遵守						
第10回	「法」の実現③			「法」と裁判						
第11回	「法」の実現③			「法」と法律家						
第12回	「法」の実現④			「法」の適用						
第13回	「法」の実現⑤			「法」の解釈						
第14回	「法」の実現⑥			「法」解釈の科学性						
第15回	総括			まとめと振り返り						
評価 方及 評基 基準	試験(論述式)のみを	・評価の ラ	対象とする	.						
教材 教科書 参考書	五十嵐清『法学入門[領	第4版 第	新装版]』	日本評論社						
留意点	法律の条文等をその場	で参考し	出来るよう	5、六法類などを常に持	参すること。					

				1			1				
科目名	法学(国際法を含む)B	科目コード	W22008	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講	後期		
		J-1		hd liti	30時間	74		7-70			
	社会福祉学支援科目 選択						122 424				
区分	教職科目(中一種【社 会】)教職科目(高一種 【公民】)	担当者名		野 拓哉			授業形態	講義	単独		
授業の 概要	「法学A」で学んだことを踏まえ のか、「法」の解釈とはどのような?			のようなメカ	ニズムによる	のか、「	法」はどの。	ように適用	されている		
到達 目標	「法学A」同様に、将来、援	飯者として	て「権利擁護」を行う為	の基礎的な	よ力を養成す	トること	き目指す。)			
			授業計画								
0	主 題		授業内容(持	受業時間外	の学修を含	(t)		1	備考		
第1回	「法」と社会規範①	Г	法」と道徳								
第2回	「法」と社会規範②	Г	法」と習俗								
第3回	生活局面と「法」①	財	↑産関係と「法」①~契約	约~							
第4回	生活局面と「法」②	財	産関係と「法」②~不済	去行為~							
第5回	生活局面と「法」③	家	『庭生活と「法」①~婚婚	因~							
第6回	生活局面と「法」④	家	『庭生活と「法」②~親 ⁻	}~							
第7回	生活局面と「法」⑤	家	『庭生活と「法」③~相約	売~							
第8回	生活局面と「法」⑥	犯	罪と「法」①~犯罪と	‡?∼							
第9回	生活局面と「法」⑦	犯	!罪と「法」②~刑罰と(‡?∼							
第10回	生活局面と「法」⑧	基	本的人権								
第11回	生活局面と「法」⑨	立	法権								
第12回	生活局面と「法」⑩	行	政権								
第13回	生活局面と「法」①	司	法権								
第14回	生活局面と「法」①	地	.方自治 ————————————————————————————————————								
第15回	総括	ま	とめと振り返り								
評価 方及 評基 基	試験(論述式)のみを評価の対	†象とする。									
教材 教科書 参考書	五十嵐清『法学入門[第4版 新	五十嵐清『法学入門[第4版 新装版]』日本評論社									
留意点	法律の条文等をその場で参照で	ごきるように	ニ六法類などを常に持参	すること。							

科目名	社会学A		科目	W22009	単位数	2単位	対象	1年	開講	前期
14111	1上云子A		コード	W 22009	時間	30時間	学年	1+	学期	刊初
巨八	社会福祉学支援科目	選択	40 火 本 な	·	四古士			授業	講義	単独
区分	会】)教職科目(高一種 【公民】)	選択必修 必修	担当者名		岡 真之			形態	碑莪	
	サクサイドルサク /	T+7	、ニ /ギョロン/	以降の社会)の出口され	11407.	赤ルナ田祭	刀十 フェ	41-	日中におっ	- ブハフユ

社会学は近代社会(日本でいえば明治以降の社会)の成り立ち、仕組み、変化を理解するために、現実に起こっている社会現象の記述、およびそれについての理論的な説明を積み重ねてきた学問である。しっかりした社会学の知識を身につけるならば、自分がどのような社会に生きているかをより深く理解できるようになるだろう。また現在生じている問題の解決に役立つヒントを手にし、私たち自身がよりよく生きていくための何らかの見通しも手に入れることができるだろう。本講義は、社会システム、社会変動といったマクロ社会の問題と同時に、人間にとって基礎的な関係である家族に関する問題などを取り上げる。

到達 目標

- ・社会学の基礎的な知識、概念を身につける。 ・さまざまな水準の社会現象を、抽象的に理解できるようになる。 ・現実に起こっている社会現象を、社会学の概念を用いて説明できるようになる。

	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	社会学とは何か(1)	社会科学と社会学	
第2回	社会学とは何か(2)	社会問題と社会学	
第3回	社会システム(1)	社会システムの概念	
第4回	社会システム(2)	社会指標、社会階層	
第5回	法と社会システム	社会にとっての法	
第6回	経済と社会システム	市場と市場の外部	
第7回	経済と社会システム	労働市場と格差社会	
第8回	社会変動(1)	社会変動と近代化	
第9回	社会変動(2)	産業化、グローバル化	
第10回	人口問題(1)	人口減少、人口転換	
第11回	人口問題(2)	少子高齢化のメカニズム	
第12回	生活の捉え方(1)	ライフスタイル、ライフサイクル、ライフコース	
第13回	生活の捉え方(2)	生活の質、幸福感	
第14回	家族(1)	家族の類型と機能	
第15回	家族(2)	現代日本の家族の変化	
評価 方及 評本 基準	授業への参加度(15%)、試験(85% 答の論理性を重視して評価する。	6)。基本概念や用語の理解を前提に、現実社会に対する洞察力	<u>-</u> を試す問題を出す。解
教材 教科書 参考書	『新・社会福祉士養成講座 第3巻 :	社会理論と社会システム』中央法規	
留意点			

#::	目名	社会学B		科目	Wo	2010	単位数	2単位	対象	1年	開講	後期
19	= 1	[上云子D		コード	VV 2.	2010	時間	30時間	学年	14	学期	仮朔
₽	【分	社会福祉学支援科目 教職科目(中一種【社 会】)教職科目(高一種 【公民】)	選択 選択必修 必修	担当者名	3	藤	岡 真之			授業形態	講義	単独
		404456440 (LEDDY	いいなっせん	ヘナリナナ	LL 40 7.	赤 ル ナ TB A	7 - 7 - 1	W1-	B = 1 - + 1 -	ナハフサ

社会学は近代社会(日本でいえば明治以降の社会)の成り立ち、仕組み、変化を理解するために、現実に起こっている社会現象の記述、およびそれについての理論的な説明を積み重ねてきた学問である。しっかりした社会学の知識を身につけるならば、自分がどのような社会に生きているかをより深く理解できるようになるだろう。また現在生じている問題の解決に役立つヒントを手にし、私たち自身がよりよく生きていくための何らかの見通しを手に入れることもできるだろう。本講義ではミクロ社会の現象である行為、役割、メゾレベルの社会である地域、社会関係資本などを取り上げる。

到達 目標

- ・社会学の基礎的な知識、概念を身につける。 ・さまざまな水準の社会現象を、抽象的に理解できるようになる。 ・現実に起こっている社会現象を、社会学の概念を用いて説明できるようになる。

回	主題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	地域(1)	地域の概念、コミュニティ	
第2回	地域(2)	都市化、過疎化、地域のグローバル化	
第3回	社会的行為(1)	ミクローマクロリンク、社会的行為とは何か	
第4回	社会的行為(2)	合理的選択理論、ハビトゥス、コミュニケーション的行為	
第5回	社会的役割(1)	社会的役割とは何か、自己と他者	
第6回	社会的役割(2)	役割と地位の関係	
第7回	社会集団と組織(1)	集団・組織とは何か、基礎集団と機能集団	
第8回	社会集団と組織(2)	支配システムと協働システム	
第9回	社会的ジレンマ(1)	個人的合理性と社会的合理性の矛盾、囚人のジレンマ	
第10回	社会的ジレンマ(2)	共有地の悲劇	
第11回	社会関係資本・社会的連帯(1)	近代化と社会的連帯	
第12回	社会関係資本・社会的連帯(2)	社会関係資本の理論、社会的排除	
第13回	社会問題(1)	社会病理と逸脱、犯罪	
第14回	社会問題(2)	日本の社会問題、貧困、非行、いじめ、DV	
第15回	社会問題(3)	共生社会と権利	
評 方 及 評 基 準	授業への参加度(15%)、試験(85% 答の論理性を重視して評価する。)。基本概念や用語の理解を前提に、現実社会に対する洞察力を詞	(す問題を出す。)
教材 教科書 参考書	『新・社会福祉士養成講座 第3巻	社会理論と社会システム』中央法規	

科目名	政治思想史A		科目	W22011	単位数	2単位	対象	2年	開講	前期
14 14 14	政 们心心又A		コード	W 22011 時	時間	30時間	学年	24	学期	H11 79 1
ロハ	社会福祉学支援科目	選択	40 M 34	b	·#\ # -			授業	講義	単独
区分	教職科目(高一種【公 民】)	必修	担当者		松 惠二			形態	神我	平/虫
授業の 概要	[キーワード:自由主] バークなどの重要な政 について学びます。			守主義]近代の政治思想 を検討しつつ、ルネッサン						
邓小辛		はあり	ません。こ	されている現在でも、国民 この講義では、福祉を考え	る上で、ま	ますます重要	要になっ	ている耳	対治につい	

到達 け政治理念、政治思想という観点から、学ぶことが目標です。講義全体を通じて、自由主義と民主主義の区別と関係を学べ 目標 るようにします。

授業計画

	授業計画										
回	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考								
第1回	ガイダンス	講義の目標や他の授業科目との関係、聴講の際の注意事項などについて									
第2回	マキアヴェリの政治思想	マキアヴェリの政治思想、とくに政治と道徳の関係について講義します									
第3回	ホッブズの政治思想(1)	ホッブズの社会契約理論の特徴について									
第4回	ホッブズの政治思想(2)	主権の絶対性をめぐる理論について									
第5回	ロックの政治思想(1)	ロックの略歴、彼の政治思想と名誉革命との関係について									
第6回	ロックの政治思想(2)	所有権の正当化理論を中心に									
第7回	ロックの政治思想(3)	信教の自由をめぐる理論について、レポート課題について説明									
第8回	ルソーの政治思想(1)	ルソーの略歴、18世紀の特徴などについて									
第9回	ルソーの政治思想(2)	ルソーの現状批判の諸理論について									
第10回	ルソーの政治思想(3)	ルソー社会契約論の特徴、自治の理論について									
第11回	ヒュームの政治思想	社会契約論批判について、功利主義的説明の方法について									
第12回	バークの政治思想(1)	バークの略歴、フランス革命の与えた衝撃について									
第13回	バークの政治思想(2)	「フランス革命についての考察」を中心に保守主義原理について解説									
第14回	質問と回答の時間	学生からの質問を中心に、わかりにくかった点について理解を深める									
第15回	まとめ	講義全体を振り返りつつ、本質的な点を再確認する、期末テスト実施									
評方及 ア ア ア 本 基		知識を問う問題です。達意の日本語になっているかどうかも重要な てもらい、確実に単位を確保できる方法を考えます。試験50点、レ									
教材 教科書 参考書	テキストは使用しません。講義の際に、	レジュメを配付します。									
留意点	社会や政治のあり方に問題	意識をもって(新聞やテレビニュースを見ながら)聴講してくだ。	さい。								

						1			
科目名	政治思想史B	科目	W22012	単位数	2単位	対象	2年	開講	後期
	31111212	コード		時間	30時間	学年		学期	
区分	社会福祉学支援科目選択	担当者名	2	対松 惠二			授業	講義	単独
	教職科目(高一種【公 民】) 必修						形態		
授業の 概要	[キーワード:自由民主主義 りあげて、19世紀以降に展開 由民主主義と福祉国家の将来	される、自	由民主主義、社会主義、						
到達目標	「規制緩和」と「小さい政府 点では、基本的な変化はあり け政治理念、政治思想という 祉国家が形成されてくる過程	ません。こ 観点から、	この講義では、福祉を考え 学ぶことが目標です。講	こる上で、ま	ますます重要	要になっ	ている政	治について	こ、とりわ
		Ţ	授業計画	I					
回	主 題		授業内容(授業時間外	の学修を含	きむ)		1	構考
第1回	ベンサム――自由主義の民	主主義化	ガイダンスの後、功利	主義の理論と	参政権の拡大	の理論に	こついて		
第2回	J・S・ミルの自由論	(1)	ベン [・]	サム主義の修	正について				
第3回	J・S・ミルの自由論	(2)	消極的	自由と積極的	自由について	[
第4回	J・S・ミルの自由論	(3)	大衆民主	政と多数派の	の専制につい	τ			
第5回	社会主義の政治思想(1)	初	期マルクスの	政治思想				
第6回	社会主義の政治思想(2)	エンゲルスの政治思想について						
第7回	社会主義の政治思想(3)	マルクスによ	る資本主義総	経済の分析に	ついて			
第8回	スペンサーの社会進化	論	資本主義経済への信頼と	自由放任論に	ついて, レオ	ペート課題	について		
第9回	社会ダーウィニズムの	思想	帝国主義政	(策を正当化し	した理論につ	いて			
第10回	グリーンの理想主義政治思	想(1)	19世紀後半のイ	ギリスと自日	由主義の修正	について			
第11回	グリーンの理想主義政治思	想(2)	契約の自由の修正につい	て、国家の征	设割の変化と	社会政策	について		
第12回	社会主義の修正		フェビアン協	会と社会民主	主義の成立に	こついて			
第13回	新自由主義と社会民主	主義	福祉政策をめ	ぐる二つの落	朝流の対立に	ついて			
第14回	質問と回答の時間		学生からの質問を中心に	、わかりにく	かった点につ	いて理解	を深める		
第15回	まとめ		講義全体を振り返りつつ	、本質的な点	を再確認する	、期末テ	スト実施		
評価 方及 評 基 準	試験を重視します。政治思想ポート提出等も含め、しっか点、平常点評価30点								
教材 教科書 参考書	テキストは使用しません。請	義の際に、	レジュメを配付します。					_	

社会や政治のあり方に問題意識をもって(新聞やテレビニュースを見ながら)聴講してください。

留意点

科目名	社会科学特講A	科目	W22013	単位数	2単位	対象	3年	開講	前期
17 12 12		コード	W 22013	時間	30時間	学年	3+	学期	H11291
区分	社会福祉学支援科目 選択 教職科目(高一種【地 歴】) 必修	担当者名		柘植 秀通			授業 形態	講義	単独
授業の 概要	世界の歴史について、特に福	祉的観点また	キリスト教の観点	を踏まえて、学	≐ ぶ。				
到達 目標	世界の歴史の繋がり、特に日まあり、そこへの福祉的働き、!					重々の時	代にも貧	困・病・ネ	きの問題だ
			授業計		16-2- A 1- \				
	主題			受業時間外の学	修を含む)			1	備考
第1回	オリエンテーション	授業の流れの					I be also as a		
第2回		類種が誕生しいて学んでし		頁であるホモサ	ピエンスの	みが残る	る過程につ		
第3回	文明の誕生と初期の発展	ダス文明、す も学ぶ。	D到来と、その発展 黄河・長江文明の展	展開、さらに日	本における	縄文文明	明について		
第4回	領域国家の誕生と展開 1	古代オリエン当時の中国、	ら、領域国家への系 ントの歴史的展開、 三皇五帝から夏ヨ D縄文文化の状況を	法制度の整備I E朝、さらに殷	についても	考察する	る。また、)	
第5回	領域国家の誕生と展開 2	古代オリエン	ら、領域国家への発 ントの歴史的展開、 夏王朝から殷・周	法制度の整備	についても	考察する)	
第6回	聖書の民の興亡について	エルの民の!! する。同時! 観する。	0年紀半ばから100 興亡を、エジプト・ こ、セム系民族であ	メソポタミア(5るフェニキア	の歴史的展 ・アラビア	開と合材 民族につ	わせて考察 ついても概	ξ	
第7回	普遍的人類の思想の出現した 枢軸時代と古代オリエントの 統一	シャのソクラ	ラ(ゾロアスター教 ラテス、さらにユタ を概観し、同時に出 アメネス朝ペルシャ	マヤ教の成立に 出現してきた古	至る、思想 代の大領域	· 宗教/	こおけるオ	;	
第8回	古代ギリシアの成立と展開		月の成立から、特に 大王の出現からへし					,	
第9回	古代ローマの成立と展開	統一に至る	D成立と展開を見て 歴史を概観する。そ した活動についても	その中で、グラ					
第10回	バビロン解放後の ユダヤ人の歴史	朝の成立崩壊	立から、ユダヤ教 衰の歴史、さらに^ 歴史を見ていく。					5	
第11回	古代中国の歴史的展開	集約され、単	崩壊から、春秋戦国 戦国の七雄に固まっ 充一に至るまでの歴 も知る。	ていき、相互の	の興亡の中	で、やか	がて秦が強	ì	
第12回	紀元前後の世界の展開	時代を概観す	る秦帝国の衰退から する。また、同時期 明のローマ帝国にて 大衆保護を基本と	別のローマの内! ついて学ぶ。特	戦からカエ に、ローマ	サルのす	登場、帝国	1	
第13回	古代文明の衰退と分裂の時代	の相克の中でるカリタスの	った、漢・ローマ <i>の</i> で、分裂していく り運動についても ら日本の状況につい	gと、西欧にお ps。また、同	けるローマ 時代、邪馬	教皇が見	民衆を支え		
第14回	中世初期の時代	の成立に至るから南北朝る	の東西の変遷、特に る時代を見ていく。 さらに隋唐の帝国成 とこの時代の大和政	また、中国に 成立に至る過程:	おいては、 を見ていく	五胡十万	大国の動話		
第15回	イスラムの成立と展開		D誕生から、正統力 く。特に、地中海世 過程を学ぶ。						
評価 方及 評基 準	授業への参加度50%、レポー 考察も交えて、2000字程/	ート50%で	評価を行う。レポ	一トを自分が気	になった眼	寺代と地	!域の変遷	について	自分なりの
教材 教科書 参考書	特に、定めないが、できれば	高校の世界史	または日本史の教	科書を持参する	ことを勧め	 かる。			
留意点									

科目名	社会科学特講B	科目コード	W22014	単位数 時間	2単位 30時間	対象 学年	3年	開講 学期	後期			
区分	社会福祉学支援科目 選択 教職科目(高一種【地 歴】) 必修	担当者名		柘植 秀通			授業 形態	講義	単独			
授業の 概要	世界の歴史について、特に福	 祉的観点また	- :キリスト教の観点で	を踏まえて、学	きぶ。							
到達 目標	世界の歴史の繋がり、特に日まり、そこへの福祉的働き、					重々の時	代にも貧	困・病・ネ	どの問題が			
	主題		授業内容(授	<u> </u>	修を含む)				備考			
第1回	オリエンテーション		後期担	受業の流れの角	军 説							
第2回	7世紀から10世紀の時代		と、当時の大和政権 ても考察する。さら					Ť				
第3回	経済中心の国家の誕生と中世	また、唐末がの誕生から記	居末五代から経済大国としての宋へと至る時代の中国を中心に見ていく。 にた、唐末から中国から離れた日本の状況、中国文化を離れた日本式文化 が選生から武士の台頭と宋との関係を重視した平氏政権などへの過程を見 ら。また、その中で慈善事業を行った仏教、特に市の聖「空也」から弘法 に師の働きなどに触れる。									
第4回	ヨーロッパ中世の展開	フランク王国から神聖ローマ帝国の誕生、さらにそうした統一ヨーロッパ 世の展開 が分裂し、小国家に分かれながら展開していく、中世のヨーロッパ、特に 教会と世俗権力について考えながら、十字軍までを視野に入れる。										
第5回	獏北と中原の東洋の葛藤から モンゴル帝国の成立と展開、 さらに世界という概念の成立	りについてす 界帝国につい また、その「	から遼・金さらにモ 考察。また、中近東 いて考察。特に現在 中で元寇を迎えた日	・ヨーロッパ の一対一路と 本の状況も考	までを捉え の関わりに 察する。	た中で原 ついても	t立するt も考える。	#				
第6回	大航海時代	あった明のな	ポルトガルの大航海 大航海時代について 見ていき、中華にお 寺代にあった様々な	も考察。また。	、遡って、 立・展開も	モンゴノ 見ていく	レ帝国の類	麦				
第7回	宗教改革の時代から 近世に向かって	宗教改革の近についてもまん、その時期などについて	6世紀の宗教改革の広がりと展開について考察する。同時に、カウンター 民教改革の運動を通して、日本に伝えられたキリスト教と西欧文化の影響 こついても考察する。さらには、その後の戦国末から江戸初期はもちろい、その時期の中国の動き、さらに明末清初と朝鮮出兵、李氏朝鮮の対応などについても考察する。									
第8回	近代へ至る社会変革 (欧州を中心に)	程、さらにそいて学ぶ。 さ リムファー	ンクロージャームー その時期の経済的環 さらに、17世紀の英 ザーズ等の宗教的活	境、またそこ 国の清教徒革 動から経済的	に与える日 命やオラン 活動につい	本の影響 ダの独立 て学ぶ。	響などにつ な、ピルク	Ĭ				
第9回	近代的慈善活動と社会の変転 (資本主義への胎動)	て後の資本3 り。また、同 帝国の発展、	からイギリスの重商 主義の胎動とワーク 司時期のプロシアの 特に3世の春。また 尊重の政治政策の展	ハウス運動を 台頭とヨーロ c、日本におい	始めとした ッパ世界の	、慈善道 変遷。同	重動の広が 同時に、流	- ド 青				
第10回	18世紀末から 19世紀半ばにかけて	諸国との相対の増大、新教とその揺らる	命からナポレオン戦 克。また、当時の資 教貧法に至る差別的 ぎ。藩政改革の動き	本主義の本格 考え方の時代。 と福祉的政策。	的な進展の 。峠の時代 。	時代と貧 後、幕M	貧富の格差 守の諸改革	直				
第11回	幕末・維新の激動と 世界:帝国主義の嵐	プロシアのt OSやセツル	の歴史。特に、ウィ 台頭とドイツ帝国の レメント運動の展開	誕生。同時に	貧困に対す	る意識の	の発展との					
第12回	日清・日露戦争から 第一次世界大戦		支配の中で、米独の ら日清・日露に至る									
第13回	戦間期のヨーロッパと 日本およびアジアの激動		ナる世界の動き。自 登場、さらに平等化			共に、t	世界恐慌力) ·				
第14回	第2次世界大戦の意味と世界											
第15回	戦後の体制(福祉国家の 誕生)とその崩壊		本制、さらに経済に 中で、世界同時成長									
及び 評価 基準	授業への参加度50%、レポート50%で評価を行う。レポートを自分が気になった時代と地域の変遷について自分なりの 考察も交えて、2000字程度で作成する。											
教材 教科書 参考書	特に、定めないが、できれば	高校の世界史	または日本史の教科	料書を持参する	ることを勧め	かる 。						
留意点	歴史を通して、自らの現在を をもって学ぶこと。	見直すことが	できるように、単な	よる過去ととら	うえずに、エ	見在生き	るものと	して歴史を	を見る姿勢			

ΧŤ	宗教学(キリスト教)		H =	7 L:	払い	٨		科目		W	23001		単位数	2単	位	対象	1年	開講	前期
社会福祉学支援科目		(+	.) /	Л [7:	我)	A	=	ュード		11.	23001		時間	30時	間	学年	'+	学期	即劫
						必修		a w *				‡E	品 尚眞				授業	講義	単独
教		資格	(高-	【社 一種		必修	1	旦当者	4			懓	可具				形態		早 生 生 生 生
																		、ト教の歴)本質を学	
۱ ۲	ト教	愴	仰と	と文化	化を	を幅広	く丑		、人	間とは何								」に探求す 体である	
										ŧ	受業	十 画							
			É	ŧ	題				授業内容(授業時間外の学修を含む)										備考
	神(の言	葉	であ	5る	聖書			旧・新約聖書の構成、聖書の信憑性、聖書と啓示										
神の子イエス・キリスト①							h ①)	1	エスの	時代的背景	景、イ	エスの福	音宣教	活動	、イエス	スの説教、		
神の子イエス・キリスト②)	1	エスの	奇跡の働	き、イ	エスので	教育、	イエ	スの三つ	つの役割、				
神の子イエス・キリスト③)		貧し	い者への	関心、	障がいる	皆や病人	くにす	対する関	心、					
神	≢の	子~	イエ	ス・	+	リス	١4)			イエ	スの多	受難、復活	舌、昇ヲ	₹、₮	再臨			
		=	キリ	スト	- の	神			神の存在、創造主である神、啓示の神、聖霊の神、										
		神	の霊	霊で さ	ある	5聖霊			聖霊の働き、聖霊と火のバプテスマと聖霊充満										
			Ξ	位一	-体	論			三位一体の神										
	+	IJŹ	スト	· の位	本 な	る教会	会			į	教会の誕生	主、教	会の本質	と特徴	、教	会の機能	能		
		天	国記	論と	地狐	試論				旧・新	約聖書と	死後の	世界、死	後の世	界で	ある天国	国と地獄		
		天	使記	論と	悪履	魔論				聖書	きと天使の	存在と	≤働き、雪	聖書と悪	医魔(の存在と	働き		
		キリ	ノス	、ト孝	女人	間論			人間	引とは何	「か、人間	と神と	≤の関係、	人間の	D自己	己喪失と	回復、原	罪	
		+	リフ	スト	教信	言仰			信	仰と救り	い、信仰生	生活、	信仰の構	成要素	、知	性、感性	青、意志、		
		+	リフ	スト	教礼	礼拝					礼拝とい	う言葉	の意味、	礼拝の	本質	、聖礼兵			
			ī	まと	め								授業の総	総括					
0		本	的理	里解		トす試	験問	問題を出	ΗĻ,	キリス		する・	一般知識	を評価で				25%)キリ 態度と礼拝	
で 呼信	まれる	キーキー試験本礼	リー・リー・美的拝の理点	スースーま (25) (25) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27	教 教 め 5% 示を文 は	言仰 礼拝 ご試教	験問に則	問題をE RSし ⁻	信の参います。	仰と救り : :加態度 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	い、信仰 ⁴ 礼拝とい (25%) スト教に 	生活、 う言葉 3. a.	信仰の構 の意味、 授業の紀 拝出席度 一般知識	成要素 礼拝の 総括 (25%を評価で	、知 本質 n) 4	性、感情 、聖礼明 、聖礼明	青、意志、 典 感想文(//	25%)	

1. 礼拝出席 2. 私語禁止、3. 遅刻禁止 4. 質問奨励

留意点

r	1		1							T			
科目名	宗教学(キリスト教	() B	科目コード	W23002	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講学期	後期			
			- '		hd. imi	30時間	7-		3.781				
	社会福祉学支援科目	必修						102 #E					
区分	教職科目(中一種【社会】)教職資格(高一種 【公民】)	必修	担当者	名	易尚眞			授業形態	講義	単独			
授業の 概要	て神を知り神の真理を を生み出す。日常の人 て、創造主である神の	知るこ 間関係 前にて	とは、人間 の問題に 責任のある	知的認識にとどまらず、その 間側に全人格的な経験と関 目を向け、それらの諸問題 る倫理的な生を生きること スト教的な解答を追及する	系を呼び起こ対して= ができる。	型こし、神の ドリスト教的 本科目授	の意思に 内な思考	向けて決 と解答を	断を迫る 生み出す	生きた返答 ことによっ			
到達目標	中で働く生きた神との 「畏神愛人」の「畏神	関係に リ は神 .、この	入り、生活 に対しての 世のすべつ	人間は自由意思をもって: 舌のあらゆる領域において の関係的・経験的な知り方 ての問題解決への真の知恵 する。	倫理的な》 を意味する	快断をする。 る。「神を <mark>!</mark>	ことを求 見れる こ	さめる。本 ことは、知	学の建学 恵の初め	精神である 」 (箴言			
				授 業 計 画									
回	主 題			授業内容	(授業時間	外の学修を	含む)			備考			
第1回	キリスト教の人間関係	論		関係優先教訓、関係の法則と技術、関係法則の伝達方法									
第2回	キリスト教の自画像論	ì		自己の回復、自画像と他者との関係、肯定的自画像形成									
第3回	キリスト教の人間理解	! 論		人間の実存の理解、自分と	∶他者の相	違点の理解	Ē.						
第4回	キリスト教の責任論			人間関係崩壊の原因、責任	Eの法則と	成熟なる関	係						
第5回	キリスト教の憤慨管理	!論		憤慨の原因、憤慨の理解、	憤慨の管	理							
第6回	キリスト教の容赦論			心の傷と治癒、神の愛と流									
第7回	キリスト教の友情論			友情と隣人愛、友情と賞賛	旧								
第8回	キリスト教の対話論			対話の重要性、成熟な対話、対話の法則									
第9回	キリスト教の傾聴論			傾聴の重要性、傾聴の方法									
第10回	キリスト教の親切論			イエスの親切心、親切心と	: 隣人愛、	親切心と成	長						
第11回	キリスト教の激励論			激励と自己の超越、激励の	D意味、激	励の原理							
第12回	キリスト教の葛藤克服	論		葛藤問題の肯定的な面とる	5定的な面	i、葛藤問題	克服の	聖書的方法	去、				
第13回	キリスト教の賞賛論			賞賛の意味と目的、賞賛の	D技術、賞	賛と人間関	係						
第14回	キリスト教の関係回復	論		人間関係回復の方法									
第15回	まとめ			授業の総括									
評価 方び 評価 基準		て出さ	れ論述方式	参加態度(25%) 3. 礼拝 式で答える。講義への参加: る。									
教材 教科書 参考書	1. 聖書 2. 讃美歌	21											
留意点	1. 礼拝出席 2. 私	語禁止	、3. 遅刻	列禁止 4. 質問奨励									

科目名	哲学A		科目 コード	W23003	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講学期	前期		
						30時間			, ,,,			
	社会福祉学支援科目	選択	ᄪᄱ		n 4.8			授業	=# **	774 AT		
区分	教職科目(中一種【社 会】)教職資格(高一種 【公民】)	必修	担当者	省	田 和男			形態	講義	単独		
授業の 概要		D始まり が打ち立		学。プラトンの継承―イデ	ア論。アリ	リストテレス	スの形而	〕上学一形	杉相 。			
到達目標	西洋の思想のルーツを	学び、自	目己の思想	見の基礎、社会福祉を実践	する上での	の根拠となる	る思想を	確立する	0 0			
				授 業 計 画								
回	主 題	•		授業内容(担	1	備考						
第1回	ソクラテスと哲学の誕	生		知を愛すること、アイロ <i>=</i>	知を愛すること、アイロニー							
第2回	プラトン『ソクラテス	の弁明』	解説	アニュトス								
第3回	プラトン『ソクラテス	の弁明』	解説	ア								
第4回	プラトン『ソクラテス	の弁明』	解説	三十人	政権の乱	、教育裁判						
第5回	プラトン『クリトン』	解説		T.	夢知らせ <i>0</i>	語り						
第6回	プラトン『クリトン』	解説		ダイ								
第7回	プラトン『クリトン』	解説			神の導	き						
第8回	プラトン『パイドン』	解説		ソク	ラテス最	後の思索						
第9回	プラトン『パイドン』	解説		自	殺や逃亡	の拒否						
第10回	プラトン『パイドン』	解説		魂の不死~	への信仰の)理性的に呼	味					
第11回	プラトン『パイドン』	解説		哲学とは	実在へと	上昇するこ	٤					
第12回	ソクラテス以前の哲学			自然の根源的	意味、生	きた自然、	ロゴス					
第13回	プラトンのイデア論			イデア論の真意、	制作的存	序在論、物質	的自然	観				
第14回	アリストテレスの形而	上学		イデア論批判、批	判的形象	、形而上学	の思考を	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
第15回	まとめ			思想の理	見実的有效	か性に向けて	<u> </u>					
評価 方び 評価 基準	授業への参加度20%、ミニテスト40%、定期試験40% 毎回、授業で発表者をつのる、その際に発表内容をレポートとして提出すること。ミニテストは2回行う。授業内容の理解 度と表現力があるかを評価対象とする。定期試験では総合的に見て理解度がどこまでいっているか評価する。											
教材 教科書 参考書	▶│『反哲学史』木田元、講談社学術文庫											
留意点	グループに分かれ、テキストの朗読、解釈、意見を活発にかわす機会にしたいと思います。											

科目名	哲学B		科目 コード	W23004	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講	後期	
					時 周	30時間	子平		于州		
- ~	社会福祉学支援科目	選択	·- · · · · ·					授業	-# **	277 VI	
区分	教職科目(中一種【社 会】)教職資格(高一種 【公民】)	必修	担当者		田和男			形態	講義	単独	
	[キーワード: 近代を 社会福祉を実践してゆ										
授業の 概要											
到達目標	近代西欧思想を歴史的	に学び、	自己の思	思想の基礎を固め、社会福	祉実践の_	上での思想的	内根拠と	:する。			
				授業計画	İ						
	主題	<u>i</u>		授業内容(備考					
第1回	デカルトと近代哲学の	創建		アリストテレス・トマス	三義						
第2回	デカルト『方法序説』	解説		普遍数学							
第3回	デカルト『方法序説』	解説		形而上学							
第4回	デカルト『方法序説』	解説		わたしは	考える、	神の存在証	明				
第5回	カントと近代哲学の展	開		啓蒙と理性主義、=	ペルニク	ス的転回、	物自体と	∶現象			
第6回	カント『道徳形而上学	原論』解	詳説	道徳							
第7回	カント『道徳形而上学	原論』解	詳説	道徳形							
第8回	カント『道徳形而上学	原論』解	詳説	純粋実践	理性批判	への移り行	き				
第9回	ヘーゲルと近代哲学			ドイツ観念論、カント批	判、生成	する精神、	弁証法、	絶対精	神		
第10回	後期シェリングと実存	哲学		近代哲学批	判、実証	主義、実存	哲学				
第11回	初期マルクスの自然主	義		「経済学・哲学草稿」	、ヘーゲ	ル批判、全	面的心理	里の立場			
第12回	キルケゴールの質的弁	証法			実存の思	索					
第13回	ニーチェと「悲劇の誕	生」		アポロン的、デ	オニソス的	り、ワーグナ	の存	在			
第14回	ニーチェと「カへの意	志」		ェ	リザベート	~の存在					
第15回	まとめ			科学至上主義	と実証主義	ら	E主義へ				
評方及評基 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	授業への参加度20%、ミニテスト40%、定期試験40% 毎回、授業で発表者をつのる、その際に発表内容をレポートとして提出すること。ミニテストは2回行う。授業内容の理解 度と表現力があるかを評価対象とする。定期試験では総合的に見て理解度がどこまでいっているか評価する。										
教材 教科書 参考書	『反哲学史』木田元、	講談社学	一一								
留意点	必ず予習して発表ができるようにしておく。										

科目名	麻山学 A	歴史学A 科目 W23005 単位数 中 関		対象	1年	開講	前期			
1400	科日名			W 25005	時間	30時間	学年	14	学期	Hu 29 0
反厶	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	赤	藤 利男			授業	講義	単独
区分 	教職資格(高一種【歴史】)	必修	12000年1	1	旅 机为			形態	神我	平/虫

(キーワード:海の道と海で結ばれる世界、「国境」を外してみる歴史、日本とアジア)

授業の 概要

「海から見た歴史」の日本編。「周囲を海に囲まれたアジアの島国」日本は、実は「海の道」によってアジアの諸地域 と結びつき、その結びつきを通じて歴史を歩んできました。渡来人がつくった弥生文化、北の海の交易民族アイヌ、「海の道」に支えられた平泉政権・平氏政権の栄華、アジアの大航海時代、貿易国家琉球王国、などなど。この授業では、近年注目を集めている「海の道」「海の世界」に目を向け、海から見た視点で、これまで見逃されてきた日本の歴史を考えます。

(1)歴史において「海の道」「海に生きた人々」が果たした役割に気付き、国家や政治権力中心の歴史でない、日本の歴 史が本来有していた豊かさと多様性について、考えることができるようになること。 (2)歴史を学ぶことを通じて、社会や人間に対する固定的でない見方・考え方ができるようになるこ

到達 目標

ہ ع

授 業 計 画

	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	オリエンテーション	本授業「海の日本史」のねらいと計画についての説明	講義形式
第2回	海で結ばれる世界、海を越えた交流	海が人々を隔てる障害でなく、結びつける媒介であったことを学 ぶ	講義形式
第3回	古代国家と海の道	日本の古代国家が東アジア諸国との交流で形成されたことを学ぶ	講義形式
第4回	遣唐使・渤海使の道	古代律令国家の国際交流について学ぶ	講義形式
第5回	日宋貿易の開始と発展	日本社会の変革と活況をもたらした日宋貿易について学ぶ	講義形式
第6回	北の海の交易民族、アイヌ民族の誕生	アイヌ民族の知られざる実態とその強大な勢力について学ぶ	講義形式
第7回	海の道で支えられた平泉の栄華	海の道を通じた南北世界との交流で栄えた平泉の歴史を学ぶ	講義形式
第8回	平清盛、福原の夢	「開国」の政権平氏政権と「海の都」福原新都構想について学ぶ	講義形式
第9回	中国人海商とアジアの大航海時代	日宋貿易をになった中国人海商と貿易活動の実態を学ぶ	講義形式
第10回	フビライの世界戦略と蒙古襲来	「海の視点」から明らかになる「蒙古襲来」の実像を学ぶ	講義形式
第11回	明帝国と「日本国王」足利義満	明帝国の国家戦略と将軍足利義満の野望について学ぶ	講義形式
第12回	「倭寇」とは何か	中世の東シナ海に生きた国際人「倭寇」の実像を学ぶ	講義形式
第13回	貿易国家琉球王朝	独立琉球王国誕生の歴史を学び、沖縄のアイデンティティを知る	講義形式
第14回	大航海時代と日本	大航海時代の中で日本の占めた位置について学ぶ	講義形式
第15回	海の道で支えられた江戸時代の日本	江戸時代の日本を支えたのが「海の道」であったことを学ぶ	講義形式
評価			

方法 及び 評価

授業への参加度 (30%)、定期試験 (70%) 定期試験は、到達目標 (1) (2) に対応して、目標に到達しているかを試す問題を出題する。答案の構成や論理性 を重点的に評価する。

教材 教科書 参考書

教科書は使用せず、適宜、プリント資料を配付し、それをもとに授業を進めます。

留意点 継続は力。まず、休まないで、授業を聞き続けることに力を入れてください。

科目名	歷史学B		科目コード	W23006 単位数		1年	開講学期	後期	
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	र जो	藤 利男		授業	講義	単独
E7	教職資格(高一種【歴史】)	必修	123111	年	『膝 刊芳		形態	再我	平/虫

(キーワード:海洋民族・海洋国家、アジアの大航海時代、大航海時代と世界史の開始)
「海から見た歴史」の世界編。世界最初の海洋民族フェニキア人・ギリシア人の登場以来、海は世界史を大きく動授業の
がす起点となってきました。世界最初の「海洋帝国」ローマ帝国の誕生と崩壊、イスラム勢力が生み出したアジアの大航海時代、アジアの第二次大航海時代と中国が「海洋国家」だったとき、ポルトガル・スペインによる大航海時代の開始とその
衝撃、そしておいます。大大・大世界内ではガーナナ 合でない新たな世界史をめざします。

(1)世界の歴史において、「海の道」と「海洋民族・海洋国家」が果たした巨大な役割に気づき、海によって結びつけら

到達 目標

ہ ع

れた国家を越えた地球規模の歴史の展開を、認識できるようになること。 (2)歴史を学ぶことを通じて、社会や人間に対する固定的でない見方・考え方ができるようになるこ

授 業 計 画

	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	オリエンテーション	本授業「海の世界史」のねらいと計画についての説明	講義形式
第2回	最初の海洋民族、フェニキアとギリシア	最初の海洋民族フェニキア人とカルタゴ、ギリシア人について学ぶ	講義形式
第3回	世界最初の「海洋帝国」ローマ	ローマ帝国が地中海世界を統合した最初の海洋帝国だったことを学ぶ	講義形式
第4回	紅海・ペルシア湾・アラビア海と海の道	地中海世界にリンクして栄えた北部インド洋世界について学ぶ	講義形式
第5回	インドから中国への海の道	東南アジア・東アジアの海の道の誕生について学ぶ	講義形式
第6回	アジアの第一次大航海時代	イスラムが生み出した「アジアの大航海時代」の開幕を学ぶ	講義形式
第7回	アジアの第二次大航海時代	中国人海商の台頭とアジアの大航海時代の変貌を学ぶ	講義形式
第8回	モンゴル帝国と中国の「海洋帝国」時代	モンゴル帝国時代のアジアの大航海時代の活況について学ぶ	講義形式
第9回	鄭和の南海大遠征	中国「海洋帝国」時代の最後を飾る鄭和の南海大遠征の実像を学ぶ	講義形式
第10回	ヴァイキングと北方海域	北の海洋民族ヴァイキングとその実像について学ぶ	講義形式
第11回	大航海時代の始まり	ポルトガルの海洋進出と大航海時代の始まりについて学ぶ	講義形式
第12回	喜望峰からアジアの海へ	ポルトガルによる「インド航路発見」の真実について学ぶ	講義形式
第13回	コロンブスの妄想が開いた大西洋世界	コロンブスの誤解から新たな世界史が開かれたことを学ぶ	講義形式
第14回	大航海時代と世界史の開始	大航海時代の意義とそれが世界史に与えた衝撃について学ぶ	講義形式
第15回	オランダからイギリスへ	新興海洋国家オランダの台頭とイギリスへの覇権の移行について学ぶ	講義形式
評価		· · ·	

方法 及び 評価

授業への参加度 (30%)、定期試験 (70%) - 定期試験は、到達目標 (1) (2) に対応して、目標に到達しているかを試す問題を出題する。答案の構成や論 理性を重点的に評価する。

教材 教科書 参考書

教科書は使用せず、適宜、プリント資料を配付し、それをもとに授業を進めます。

留意点 継続は力。まず、休まないで、授業を聞き続けることに力を入れてください。

科目名	情報処理A		科目 コード	W23009	単位数時間	2単位 30時間	対象学年	2年	開講学期	前期			
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者	含	香藤 昭			授業形態	講義	単独			
	教職科目	必修	1555		I# 1 I =								
授業の 概要				F理解し、コンピュータを も技術と知識に移行できる			ア・ソフ	'トウエア	・ ・ネット [・]	ワークの基			
到達目標	応できるようになる。	ードウ)技術と知識の状況を理解 フトウエア・ネットワーク									
				授 業 計 画									
回	主题	I		授業内容(指	受業時間外	の学修を含	さ む)			備考			
第1回	情報伝達の歴史とコン 要)	゚ピュー	タ(概	情報伝達の歴史と電子技術									
第2回	コンピュータ技術の進 要)	展と歴	史(概	プログラム内蔵方式、データの									
第4回	データのディジタル表	現(1))	数値データの符号化、2進	数・10進	数・16進数	の考えた	ī					
第5回	データのディジタル表	現(2)	1	文字データの符号化、コー Unicode)	ード(ACCI	IIコード・、	JIS⊐—	ド・					
第6回	データのディジタル表	現(3))	音の符号化、画像の符号化	<mark></mark>								
第7回	データの圧縮と復元			文字情報の圧縮、音情報の	D圧縮、画	「像情報のE	縮、圧	縮率					
第8回	ソフトウエアとデータ			ソフトウエアの構成、データ構造、アルゴリズム									
第9回	ネットワークの仕組み (1)			通信プロトコル、インター									
第10回	ネットワークの仕組み (2)	ر ع. 		通信の信頼性、IPアドレスとDNS、インターネットと パケット通信									
第11回	情報社会と情報モラル	(1)		情報社会が人におよぼす影	杉響、ネッ	トトラブル	、ウイ	ルス					
第12回	情報社会と情報モラル	(2)		情報セキュリティの確保、	情報の流	失とセキュ	リティ	対策 ————					
第13回	情報社会と情報モラル	(3)		情報社会における個人の意									
第14回	情報システムと人間			ヒューマンインターフェース、ユニバーサルデザイン				ティ、					
第15回	課題作成			テーマーますます進展する 自分がなすべきこと	5情報化社	:会にあって	•						
評価 方及 評基 基準	評価方法:期末試験(-ト(30%)、レポート ルから立ち向かう考え方を:			ないろい	ろな課題	の理				
教材 教科書 参考書	プリント教材												
留意点	パソコンの実践操作学習は含まれないので、注意してください。												

	1				r	ı	1	T				
科目名	情報処理B		科目 コード	W23010	単位数時間	2単位	対象	2年	開講学期	後期		
			•			30時間						
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者	各	蘇 昭			授業	講義	単独		
	教職科目	必修						形態				
授業の 概要				を理解し、コンピュータを る技術と知識に移行できる			ア・ソフ	トウエア	゚ ・ネット [「]	フークの基		
到達 目標	応できるようになる。	ードウ		D技術と知識の状況を理解 フトウエア・ネットワーク								
				授業計画								
回	主題	_		授業内容(担	1	備考						
第1回	オリエンテーション、 は	データ・	ベースと	情報社会とデータベース								
第2回	データベースの作成・	操作		テーブル・クエリ・フォ- 方	Acces	Accessによる						
第3回	データベースの作成・	操作		テーブルの作成	Acces	Accessによる						
第4回	データベースの作成・	操作		テーブルの作成					Acces	ssによる		
第5回	データベースの作成・	操作		クエリの作成					Acces	ssによる		
第6回	データベースの作成・	操作		クエリの作成	Acces	ssによる						
第7回	データベースの作成・	操作		クエリの作成	Acces	ssによる						
第8回	データベースの作成・	操作		フォームの作成	Acces	ssによる						
第9回	データベースの作成・	操作		レポートの作成	Acces	ssによる						
第10回	データベースの作成・	操作		フィルター機能					Exce	1による		
第11回	データベースの作成・	操作		フィルター機能					Exce	1による		
第12回	データベースの作成・	操作		複数ワークシートの操作					Exce	1による		
第13回	データベースの作成・	操作		複数ワークシートの操作					Exce	1による		
第14回	データベースの作成・	操作		クロス集計・ピボットテ-	-ブルの撴	峰作			Exce	1による		
第15回	データベースの作成・	操作		クロス集計・ピボットテ-	-ブルの撴	作			Exce	1による		
評価 方及 評基 基	授業の参加度(30%)とそれぞれのテーマに基づく課題提出(70%)の内容について、理解度・実践能力などを総合評価する。											
教材 教科書 参考書	テキスト: Access―デ テキスト: Excelのス=											
留意点	例題と課題に取り組み	みながら	実践力を	習得する授業なので、欠原	ますれば、	直ちに技術	と知識	の習得に	支障がでる	0		

	T		ı	T					1	
科目名	スポーツ科学概	倫	科目 コード	W23011	単位数 時間	2単位	対 象 学年	1年	開講学期	前期
						20四十月				
区分	社会福祉学支援科目 教職科目	選択必修	担当者:	名	東方 達也			授業 形態	講義	単独
				 ソは、現代社会に広く浸烫	を サルビ	めた洋に小か	こからす	学と郷たちゃ	る方左	トかってい
授業の 概要	るだけでなく、物質的	にも精	神的にもは	世界を動かす大きな要因と 性されます。このオリンヒ	なっている	ます。202	20年に	はスポーツ	/界の象征	敳であり縮
到達目標	スポーツの存在意義	を再認	識し、新 <i>†</i>	となスポーツ像を描く。						
				授業計画	<u> </u>					
0	主見	Ī		授業内容(授業時間欠	トの学修を含	್			備考
第1回	ガイダンス及び導入			単位、評価、科目の位 にするとはどういうこと)説明。スポ	ーツを	学問の対象		
第2回	身体運動とは?			身体運動の存在意義を	人類の歴史	こに即して捉	える。			イドとプリ では講義
第3回	身体運動のスポーツ化	:		身体運動が実用術から 理解する。	ントを使って講義					
第4回	オリンピックという存	在		そもそもオリンピックとい 『オリンピック憲章』に基づ 通すこと。)	ppt. A 7	イドとプリ iって講義				
第5回	古代オリンピック			古代ギリシャで長年開 のスポーツ観やスポーツ		イドとプリ iって講義				
第6回	近代オリンピックの歴	壓史1		その始まりと理念及び第 変容		イドとプリ で講義				
第7回	近代オリンピックの歴	史 2		日本と近代オリンピッページ等参照)					ントを使	イドとプリ iって講義
第8回	映像資料に見るオリン	ピック		オリンピックの精神や聴と解説					講義	[料に使う
第9回	オリンピックビジネス			特にプロ解禁以降、世オリンピックを商業主義	の観点をふ	ふまえつつ分	析する	0	ントを使	って講義
第10回	ドーピング 1			ドーピングの実態とア を理解する。(JADAやJO	C等のホー	ムページ参	震)		ントを使	って講義
第11回	ドーピング 2			ドーピングの実態とア を理解する。(JADAやJO	C等のホー.	ムページ参	震)		DVDを使	って講義
第12回	各論 1 (スポーツと国	際情勢)	スポーツ界から見る国いった観点から捉える。					ントを使	イドとプリ iって講義
	各論2(スポーツと自			自然を対象とする身体 アスポーツ(登山を例に)の変容を	理解する			ントを使	うて講義
	各論3(スポーツボラ	ンティ	ア)	「観る」、「する」に によるスポーツ界との関 これまでの講義全体を	わりについ	いて理解する	0		ントを使	イトとノリ iって講義
第15回	総括			験の傾向と対策	1水り返り、	神たで女品	の金圧	でする。 訊		
評方及評基 基準	試験:100%(スオ容をしっかりノートし			載と理解度を問う設問集) 是に問題を出す。	※配布(したプリンI	- (ppt.	スライド)	に加え [・]	て、講義内
教材 教科書 参考書	ppt. スライド使用、フ	゚゚゚リントi	配布、DVD							
留意点	・出席は取りませんが、授業でしっかりノートを取らないと、後でプリントだけ見ても理解できませ									
Per 1/11/	・教職免許のために確	実に「何	体育(2 🛚	単位)」を習得したい人に	は、実技もは	2種目(2萬	(位分)	履修するこ	ことをお	動めします

科目名	ヘルスサイエンス	論	科目 コード	W23002	単位数時間	2 単位	対象学年	1年	開講学期	後期
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者	名 吉岡 和		宗弘		授業形態	講義	オムニバス
授業の 概要	健康に関する知識、健	康に関う	する科学的	9分析について知る。						
到達目標	現代人のための健康、	体力、៖	疾病及びに	木養について知る 。						
				授業計画	<u> </u>					
0	主題	I		授業内容(授業時間タ	トの学修を含	(t)			備考
第1回	健康とは			健康の概念を知る						宇田
第2回	健康と体力			健康と体力の概念につい	宇田					
第3回	健康度の指標			健康であるための条件な	宇田					
第4回	健康阻害の要因			健康を阻害する要因について知る						宇田
第5回	健康の現状と問題点			健康と平均寿命や健康寿命						宇田
第6回	健康管理 I			健康維持のための方策 I						宇田
第7回	健康管理Ⅱ			健康維持のための方策Ⅱ						宇田
第8回	健康管理の実際			近代における人々の健康状態を知る						宇田
第9回	疾病管理			疾病とは何かの概念を知る						吉岡
第10回	遺伝について			特に遺伝病について						吉岡
第11回	成長と老化			成長と老化について知る						吉岡
第12回	精神保健 I			現代人の心の問題につい	て知るI					吉岡
第13回	精神保健Ⅱ			現代人の心の問題につい	て知るⅡ					吉岡
第14回	運動と疲労Ⅰ			現代人の疲労問題、過労、過労死について知るI						吉岡
第15回	運動と疲労Ⅱ			現代人の疲労問題、過労	、過労死に	ついて知る	П			吉岡
評方及評基	課題レポートによる評価(100%)									
教材 教科書 参考書	講義時に必要なプリン	トを配る	布							
留意点	新聞や雑誌の健康および生活欄を見ること									

科目名	スポーツ科学実技A(バラ	ベケット1)	科目 コード	W23012	単位数時間	1単位	対象学年	1年	開請	
			7-7		FF [B]	16時間	子平		子共	н
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者	2 #	方 達也			授業	実技	単独
巨刀	教職科目	選択必修	12 3 13 1	1.7	: 万 连也			形態	大汉	- 学伝
授業の 概要	実戦を学びます。但し	、実技(の授業は、	人の動きからゲームにおけ 通常、予習や復習ができ は「なぜそうするのか」を	ません。i	週に一度の _打	受業で上	手くはな	りませ	
到達目標				句に理解する。そのために - があることをふまえ、何					実戦に	おいては、
				授業計画	Ī					
	主是	Ī		授業内容	(授業時間	外の学修を	含む)			備考
第1回	ガイダンス			受講者数、経験の有無等 わる留意点の伝達	等の確認	体育館での	実技授	業の受講に		ゴイダンスのみのた b着替えの必要なし
第2回	バスケットボールの基 及び受講者のレベル硝		ヒルール	1. 名称、歴史、コートの規 低限知っておくべきルールの				ムをする際に	こ、最	プリント配布
第3回	基本の動き 1			ストップ動作を基軸となれらに関連する重心移動	するウォー	-ク、ラン、	ステッ	プの確認る	ヒそ	
第4回	基本の動き2			フットワーク各種、対人の	の動き					
第5回	基本の技術 1			ボールハンドリング、ピァ	ボット、キ	テヤッチ、ハ	パス			
第6回	基本の技術 2			対面パス、動きのあるパス	ス、パス8	レラン(三角	パス、	四角パス)		
第7回	基本の技術3			対面パス、動きのあるパン	ス、パス8	メラン(三角	パス、	四角パス)		
第8回	オフェンス 1			パス&ラン、シュートの	基本、2メ	シ				
第9回	オフェンス 2			シュートの基本、2メン、	. 3メン	(3線の理解	≩)			
第10回	オフェンス 3			3メン、3対2、得点の	確率を上げ	ずるための合	理的な	展開		
第11回	ディフェンス 1			マンツーマンディフェンス ルラインの理解、視野等)		(ボールの位	置、位	置取り、ア	ボー	
第12回	ディフェンス 2			マンツーマンディフェンスルラインの理解、視野等)		(ボールの位	置、位	置取り、ア	ボー	
第13回	ディフェンス 3			マンツーマンディフェン ルラインの理解、視野等)			置、位	置取り、7	ボー	
第14回	ゲーム			5対5						
第15回	ゲーム			5対5						
評価 方及評価 基準	授業への参加度:50	% 実技	支テスト	: 30% 学科テスト: 2	0%					
教材 教科書 参考書	使用しない									
留意点	女子のみ受講可 ません。	3 学部合	同で実施	定員:24名 但し、科	料目登録の	時点で受講	者が 1 (0名に満た	こない場	場合は開講し

科目名	スポーツ科学実技B(シー	ーカヤック)	科目 コード	W23013	単位数時間	1単位	対象学年	1年~	開講学期	前期集中
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者	名 - 村	 i方 達也			授業	実技	単独
	教職科目	選択必修						形態		
授業の 概要	2泊3日のハードでワ	アイルドカ 配信して	なサバイノ	7のことです。シーカヤッ バルキャンプです。※尚、 (Yahoo!ブログ:http:/	授業に関す	する情報は	『弘前学	院大学ア	ウトドア	系集中授
到達 目標	・シーカヤックの基本	操作の	習得 ・ É	自然との望ましいつきあい	方の体得	・野外での	の衣食住	と共同生	活への順	応
				授業計画	Ī					
	主 題			授業内容(授業時間タ	トの学修を含	きむ)			備考
1.	ガイダンスと事前学習	7月)		受講心得・交通手段・費	用・装備等	手について				
2.	実習			実習地:北海道小樽市塩谷》	岸または泊	白村盃海岸				
				日 程:夏休み中 2泊3日+	前後移動日	I				
				内 容 ·陸上指導 ·海上	実践練習					
				・ショートツアー						
				・キャンプサイトの記	と営と撤収					
				・燃料調達 ・食料、	飲料水の管	理				
				・たき火の管理と野	外炊事					
				•各種海浜野外活動	加(各自)					
評価 方とび 評価 基準	ガイダンス及び実習の)活動状》	兄:100)% ※ガイダンス欠席 <i>の</i>	場合は、乳	実習に参加っ	できませ	- λ .		
教材 教科書 参考書	使用しない									
	ない人、食べ物の好き ます。納入締切日(6月	嫌いが》 末頃)ま	激しい人に でに入金	員と面談し、適性の確認を には向きません。履修登録 が確認された者をもって∫ 頁(内金含む)の目安¥35,	者に対し、 愛修者確定	受講費内金	金として .後このI	大学より 内金は返金	∮20,000± されまも	が徴収され せんので、

科目名	スポーツ科学実技C(スノースポーツ)	科目 コード	W23014	単位数時間	1単位	対象学年	1年~	開講学期	後期集中
区分	社会福祉学支援科目 選択 教職科目 選択必修	担当者名		棟方 達也			授業形態	実技	単独
授業の 概要	<u>今年度の種目はスキ</u> に、スキーのおもしろさを学報を『弘前学院大学アウトド(Yahoo! ブログ:http://blog	びます。生涯 ア系集中授業 gs. yahoo. co.	≣スポーツとしてより €』というブログにて .jp/naturemountainr	いっそう楽し配信している	しめるよう! ます。昨年!	こなりま <mark>まの様子</mark>	しょう。向 等、参考に	り、授業! こしてく	c関する情 ださい。
到達 目標	・安全で楽しい技術の習得	・スキーの楽	巻しさの理解						
			授 業 計	画					
	主題		授業内容	(授業時間を	トの学修を含	む)			備考
1.	ガイダンス	[12月] 要項配布と	说明、確認					
2.	実習(2泊3日)		実習地:安比高原ス	キー場					
			日 程:冬休み中	2泊3日(陸	発雪状況によ	り延期	あり)		
			内容:[1日目]	午前 移動	現地到着後	、開講:	式		
				干後 レッス	ン1(班分	け含む)		
			[2日目]	午前 レッス	ン2				
				干後 レッス	(ン3				
			[3日目]	午前 レッス	ミン 4				
				午後 レッス	スン5 終了	後、閉	講式 移動	1	
評方及評基 所法び価準	ガイダンス及び実習の参加状	況と受講状況	₹:100%						
教材 教科書 参考書	使用せず								
留意点	履修登録者に対し、受講費された者をもって履修確定とさい。受講費総額(内金含むは開講しない場合もあります)	し、以後、受) の目安¥45	を講をキャンセルして , 000前後 3 学部合	も内金は返 引実施 ※受	金されません 講者数次第	んので、 では、	充分確認()上、登	録してくだ

	Г				<u> </u>	ı	<u> </u>	I		- T
シロタ	スポーツ科学実技D(バスケット2)		科目	Wood#	単位数	1単位	対象	1年	開講	公田
科目名	スホーク科字美技D(ハス	·クット2)	コード	W23015	時間	16時間	学年	1年	学期	前期集中
区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者	Z ki	棟方 達也					単独
	教職科目	選択必修	12 3 13 7	1.7*	(株力) 建也			形態	実技	平瓜
授業の 概要	実戦を学びます。但し	,、実技(の授業は、	、の動きからゲームにおけ 通常、予習や復習ができ は「なぜそうするのか」を	ません。』	間に一度の抗	受業で上	手くは	なりません。	

バスケットボールという球技を合理的に理解する。そのために、動きや体の使い方の意味を理解し、実戦においては、 チームの一人一人に必ず役割とやることがあることをふまえ、何をすべきか判断し動くよう努力する。

到達 目標

授業計画

回	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	ガイダンス	受講者数、経験の有無等の確認 体育館での実技授業の受講に関 わる留意点の伝達	ガイダンスのみ のため着替え不 要
第2回	バスケットボールの基礎知識とルール 及び受講者のレベル確認	1. 名称、歴史、コートの規格等 2. 最終的に5対5のゲームをする際に、最低限知っておくべきルールの解説。 3. 技能チェック	プリント配布
第3回	基本の動き 1	ストップ動作を基軸とするウォーク、ラン、ステップの確認とそれらに関連する重心移動	
第4回	基本の動き2	フットワーク各種、対人の動き	
第5回	基本の技術 1	ボールハンドリング、ピボット、キャッチ、パス	
第6回	基本の技術 2	対面パス、動きのあるパス、パス&ラン(三角パス、四角パス)	
第7回	基本の技術3	対面パス、動きのあるパス、パス&ラン(三角パス、四角パス)	
第8回	オフェンス 1	パス&ラン、シュートの基本、2メン	
第9回	オフェンス 2	シュートの基本、2メン、3メン(3線の理解)	
第10回	オフェンス3	3メン、3対2、得点の確率を上げるための合理的な展開	
第11回	ディフェンス 1	マンツーマンディフェンスの基本 (ボールの位置、位置取り、ボールラインの理解、視野等)	
第12回	ディフェンス 2	マンツーマンディフェンスの基本 (ボールの位置、位置取り、ボールラインの理解、視野等)	
第13回	ディフェンス3	マンツーマンディフェンスの基本(ボールの位置、位置取り、ボールラインの理解、視野等)、3対3	
第14回	ゲーム	5対5	
第15回	ゲーム	5対5	
評価			

| | 方及評基 | |

授業への参加度:50% 実技テスト:30% 学科テスト:20%

教材 教科書 使用しない 参考書

原則として男子のみ受講可(但し、女子でも部活動経験等により男子と同等に運動できる自信のある人は受講可) 3 学部合同で実施 定員: 2 4名 但し、定員を超えた場合は、男子を優先し、抽選とします。尚、科目登録の時点で受講者が 1 0名に満たない場合は開講しません。

	科目名	スポーツ科学実技E(スクーバー	おくないか)	科目	W23016	単位数	1単位	対象	1年	開講	前期集中
	1700	スポーク科子美仅E(パ/-バー	91629)	コード	W 23016	時間	16時間	学年	1+	学期	削効果甲
ĺ	区分	社会福祉学支援科目	選択	担当者名	t	京方 達也			授業	実技	単独
	ΔЛ	教職科目	選択必修		12	7. 连也			形態	关权	半独
ŀ			<u></u>		-7-1	, », <i>L</i> » L »	マドーのケン	- /1-12	\ mz (-1.)	T = L +	

スクーバダイバー認定コースを受講することで、スクーバダイビングを通じての海浜 (海洋) 野外活動を学びます。スクーバダイバーに認定されると、「Certification Card (通称: Cカード)」という世界共通の認定証が取得でき、さらにスキルアップして各種ダイバーに認定するための第一歩となります。実習期間中にスクーバダイバー認定に至らない場合を取ります。

概要

※既にパスポートダイバー認定を受けている人、あるいはスクーバダイバー認定を受けている人等で上位コースの受講を希望する人にも対応しますので、相談してください。尚、授業に関する情報を『弘前学院大学アウトドア系集中授業』というブログにて配信しています。昨年度の様子等、参考にしてください。(Yahoo!ブログ:

http://blogs.yahoo.co.jp/naturemountainriversea) ※専門演習 I (棟方)選択指定科目

NAUI(National Association of Underwater Instructors)スクーバダイバー認定

到達 目標

授 業 計 画

主題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
NAUIスクーバダイバー認定講習プログラム	1. ガイダンス(7月)・受講心得・交通手段・費用・装備等について	
	・事前提出書類について	
	2. 実習	
	実習地:北海道美国町(積丹半島)	
	日 程:夏休み中 2泊3日+移動日	
	内 容 [1日目]午前:実技1 午後:実技2 夜:学科1	
	[2日目]午前:実技3 午後:実技4 夜:学科2+学科試験	
	[3日目]午前:実技5 午後:補習またはスキルアップ講習	
	※ダイビングセンター・ポセイドン(札幌)の正規講習を受講します。	
	※既にパスポートダイバー認定を受けている人、あるいはスクーバダイバー 認定を受けている人等で上位コースの受講を希望する人にも対応しますの で、担当者に相談してください。	
評価		

方法 及び 評価

スクーバダイバー認定:100% パスポートダイバー認定またはそれと同等のレベルに達している場合:80% ※それ 以外の場合は、受講状況と到達度により判断する。

教材 教科書 参考書

現地にて所定の教材(受講費に含まれる)を配布

足の届かない深さで泳げること。持病や体質等により受講できない場合がありますので、登録前に必ず、担当 教員と面談し<u>適性の確認</u>を受けること。履修登録者に対し、受講費内金として大学より¥20,000が徴収されます。納入 **留意点** 締切日(6月末頃)までに入金が確認された者をもって履修者確定とし、納入後この内金は返金されませんので、登録には注意してください。受講費総額(内金含む)目安¥45,000程度+北海道往復旅費 3学部合同実施

科目名	スポーツ科学実技J(アウトドアスポーツ:陸)	科目コード	W23021	単位数時間	1単位	対象学年	1年	開講学期	前期集中
		J 1'	,	Rel Ital	16時間	7-		7-741	
区分	社会福祉学支援科目選択	担当者名		棟方 達也			授業形態	実技	単独
	教職科目選択必修								
授業の 概要	科目	院大学アウト : http://blo	ドア系集中授業』と ggs. yahoo. co. jp/nati	いうブログ(uremountain	こて配信して riversea)	ています ※ ¹	。昨年度 専門演習]	の様子等 (棟方)	、参考にし
到達 目標	・サイクリングの基礎と走り	方の習得・	登山の基礎と歩き方の	の習得・日	自然との望る	ましいつ	きあい方	の体得	
			授業計	画					
	主 題		授業内容	(授業時間を	の学修を含	む)			備考
1.	ガイダンス	• :	実施方法・注意事項	頁 ・グルー	・プ分け 等	:			
2.	サイクリング	1):	基礎知識						
	※ママチャリ可	2	計画と準備(コース、	装備、飲食	、整備 そ	の他)			
		3	実習 • 日程:土日	または夏休み	L				
			▪場所:津軽均	也方					
		4	報告書作成						
3.	登山	1	基礎知識						
		2	計画と準備(コース、	装備、飲食	、パッキン	グ そ	の他)		
		3	実習 ・日程:休日 る	または夏休み					
			▪場所:八甲日	田山系					
		4 :	報告書作成						
·									
評 方 及 評 基 準	ガイダンスを含む授業参加状	況:80%	報告書:20%(活	動内容報告	書を所定の∄	ジ式に従	い、指導	のもと作	成する。)
教材 教科書 参考書	山と高原地図4『八甲田・岩	木山』2018年	版 昭文社						
留意点	定員:15名 交通費、食費	等実費は自己	.負担 文学部と合同	弄講					

科目名	スポーツ科学実技H(柔i	_{道)} 科目 コート	<i>z</i>	W23019	単位数時間	1単位	対象学年	1年	開講学期	前期集中
						16時間				
区分	社会福祉学支援科目	選択 担当	者名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	插 俊哉			授業	実技	単独
		沢必修						形態		
授業の 概要	柔道の基本を楽しく学習 基本動作、受身、固め技	します。 , 投げ技を ^負	学習しま	ちす。試合、型、護身	術について	€も体験しま	ます 。			
到達目標	受け身を確実にマスター	し、安全に記	式合を第	类しむことができる 。						
				授業計画	Ī					
0	主 題			授業内容(受業時間外	の学修を含	む)			備考
第1回	柔道とは		柔道	の歴史と意義、基本	動作					
第2回	足技 1		後ろ	受け身、大内刈、小	 为刈					
第3回	足技 2		横受	け身、送足払、出足	L					
第4回	足技3		横転	黄受け身、膝車、支釣込足						
第5回	足技 4		大外	刈、小外刈						
第6回	腰技 1		前回	り受け身、大腰						
第7回	腰技2		前回	り受け身、釣込腰、	本落、袈裟	固				
第8回	手技 1		背負	投、払腰、内股、横口	四方固					
第9回	固技 1		立ち	技の練習法、上四方[固					
第10回	固技 2		約束	稽古、縦四方固、肩[固					
第11回	固技3		乱取	り、関節技						
第12回	形		投の	形、絞め技						
第13回	審判法		審判	法、寝技の練習法						
第14回	試合		試合							
第15回	護身術		護身	術						
評価 方及 評価 基	授業態度及び参加度50点	、実技試験5	0点によ	い総合的に評価しま	す 。					
教材 教科書 参考書	なし									
留意点	貸し出し用柔道着に限り	がありますの	りで、月	用意できる人は持参し	てください	\ °				

科目名	日本史A	科目	W63011	単位数	2単位	対象	1年	開講	前期	
符日石	日本文A	コード	W 63011	時間	30時間	学年	14	学期	刊舟	
区分		必修 担当者 必修	·· 名	齊藤 利男			授業形態	講義	単独	
授業の 概要	旧石器時代かう、列島内の「地域」にます。また、そのことを									
到達 目標	になること。		き、日本の歴史が本来有じて、社会や人間に対す							
			授 業 計	画						
回	主 題		授業内容	(授業時間外	の学修を含	きむ)			備考	
第1回	オリエンテー	ーション	本授業の	本授業のねらいと計画についての説明						
第2回	原日本人の来	た道	ホモサピエンスの登	場と旧石器時	代の日本列	削島につ	いて学ぶ	講	義形式	
第3回	日本列島の誕生と	縄文文化	縄文時代の	始まりと縄文	文化の特徴	数を学ぶ		講	義形式	
第4回	縄文文化の東	と西	縄文時代	の歴史と地域	差について	学ぶ		講義形式		
第5回	弥生時代の始	ìまり	弥生時代(の開始と弥生	文化の特徴	を学ぶ		講	義形式	
第6回	弥生文化の拡大	と発展	弥生文化	の発展と「国	』」の登場を	き学ぶ		講	義形式	
第7回	倭国の登場	易	奴国かり	ら邪馬台国ま	での歴史を	学ぶ		講義形式		
第8回	邪馬台国]	邪馬台国と「倭	講義形式						
第9回	ヤマト政権と信	委王国	ヤマト政権と古墳文化について学ぶ						義形式	
第10回	倭王国から統一国	家日本へ	ヤマト政権か	ら律令国家へ	の移行の歴	を史を学	ぶ	講	義形式	

評価 | | 方及評基 | |

第11回

第12回

第13回

第14回

第15回

統一国家の形成(1)

統一国家の形成(2)

古代の東北とエミシ

エミシとヤマト

「日本国」の誕生

授業への参加度(30%)、定期試験(70%) 定期試験は、到達目標(1)(2)に対応して、目標に到達しているかを試す問題を出題する。答案の構成や論 理性を重点的に評価する。

律令国家はどのような国家だったかを学ぶ(政治制度面)

律令国家はどのような国家だったかを学ぶ (都城制と官道・国境)

古代東北の歴史とその住人「エミシ」について学ぶ

ヤマトによるエミシ征服(征夷)の歴史について学ぶ

律令国家の誕生を、内政・外交の両面から見る

講義形式

講義形式

講義形式

講義形式

講義形式

教材書 教科書 教科書は使用せず、適宜、プリント資料を配付し、それをもとに授業を進めます。 参考書

留意点 継続は力。まず、休まないで、授業を聞き続けることに力を入れてください。

科目名	日本史B		科目	W63012	単位数	2単位	対象	1年	開講	後期
1400	日本文D		コード	W65012	時間	30時間	学年	14	学期	1交列
区分	教職科目(中一種)	必修	担当者名	प्र	藤 利男			授業	講義	単独
	教職科目(高一種【地歴】)	必修	123111	9	旅 们力			形態	神我	半独
	(キーワード:近代日 開	国から		●に至る近代日本の歴史を				治国家		清・日露戦

授業の争、 概要

争、「大日本帝国」の成立、満州事変・日中戦争、太平洋戦争という、歴史の画期を軸にみてゆきます。そして、この学習を通じながら、明治の人たちはどのような未来を夢見、いかなる選択を行ったのか、そして、世界三大国の一つにまで膨張した「大日本帝国」が、なにゆえ太平洋戦争への道を選び、崩壊に至ったのかを、考えてゆきたいと思います。

(1) 開国から太平洋戦争までの日本近代の歴史を、世界史的視野から考えることができるようになること。 (2) 近代日本がもっていたさまざまな可能性と、明治の日本人が行った模索の努力について、わが国の将来の展望と関連させて、考えることができるようになること。

到達 目標

授業計画

0	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	オリエンテーション	本授業のねらいと計画についての説明	講義形式
第2回	開国と近代への模索	開国と貿易開始の影響について学ぶ	講義形式
第3回	尊攘攘夷と幕末の政治抗争	尊攘攘夷運動と幕末の政治抗争について学ぶ	講義形式
第4回	戊辰戦争と明治維新	幕府の抗争と戊辰戦争・明治維新について学ぶ	講義形式
第5回	明治国家の課題	「条約改正」のための明治国家の模索について学ぶ	講義形式
第6回	大国路線の選択	「大国主義」路線の選択とその結果について学ぶ	講義形式
第7回	日清戦争への道	日清戦争は何のための戦争だったかを学ぶ	講義形式
第8回	日清戦争圧勝とその波紋	日清戦争「大勝利」がもたらした結果について学ぶ	講義形式
第9回	三国干渉と戦後経営	下関条約が三国干渉と「新たな戦争」を招いたことを学ぶ	講義形式
第10回	日英同盟と日露開戦	日本が超大国ロシアと戦うことになったいきさつを学ぶ	講義形式
第11回	日露戦争、薄氷の勝利	日露戦争「勝利」の実態とポーツマス条約の意義を学ぶ	講義形式
第12回	「大日本帝国」の成立	日露戦争の勝利で植民帝国「日本」が誕生したことを学ぶ	講義形式
第13回	「大日本帝国」のその後	「大日本帝国」の内実と行き詰まりについて学ぶ	講義形式
第14回	アジア太平洋戦争への道	満州事変から太平洋戦争までの歴史を学ぶ	講義形式
第15回	アジア太平洋戦争	太平洋戦争の実像を学ぶ	講義形式

評価 方法 及び

評価基準

授業への参加度(30%)、定期試験(70%) 定期試験は、到達目標(1)(2)に対応して、目標に到達しているかを試す問題を出題する。答案の構成や論 理性を重点的に評価する。

教材 教科書 参考書

教科書は使用せず、適宜、プリント資料を配付し、それをもとに授業を進めます。

継続は力。まず、休まないで、授業を聞き続けることに力を入れて下さい。 留意点

科目名	歴史と社会A		科目 コード	W63013	単位数 時間	2単位 30時間	対象学年	1年	開講学期	前期
区分	教職科目(中一種) 教職科目(高一種【地歴】)	必修	担当者名	i	石田 和男			授業形態	講義	単独
授業の 概要	フランスの出生率の高る	さの原因	図を探って	きた経緯から、今度は日	∃本の出生₹	率の低さの原	原因につ	いて探っ	ていく。	
到達目標	日本の少子化は199 生活白書には、少子化 け止めていなかったこ。 その原因を徹底して探る	問題の とである	多くがすで	に指摘されていた。少る	子化対策も記	己されていた	こ。問題	は誰もそ	れを重要	なことと受
				授業計「	画					
	主題			授業内容	(授業時間外	トの学修を含	む)			備考
第1回	日本の少子化。		3	主因は若年男性の収入但	下とパラサ	イト・シン	グル現	象		
第2回	なぜ少子化が社会問題が	なのか。	t	地域格差と家族格差を伴	≚っているの)で深刻であ	うる 。			
第3回	家族の理想と現実。			人は家族を持ちたがって	いるが、持	すてなくなっ	ている	0		
第4回	少子化の原因は。		J	原因は、魅力格差、経済	F格差、性の	あり方の変	を化によ	る。		
第5回	戦後日本と少子化。		i	経済状況と恋愛状況の転	換点。					
第6回	収入の見通し。		i	結婚生活・子育てへの期]待水準。					
第7回	高度成長と安定出生率。	Þ	3	平均4人の子ども持つ世	! 代。					
第8回	少子化の始まり。		E							

第3回	家族の理想と現実。	人は家族を持ちたがっているが、持てなくなっている。	
第4回	少子化の原因は。	原因は、魅力格差、経済格差、性のあり方の変化による。	
第5回	戦後日本と少子化。	経済状況と恋愛状況の転換点。	
第6回	収入の見通し。	結婚生活・子育てへの期待水準。	
第7回	高度成長と安定出生率。	平均4人の子ども持つ世代。	
第8回	少子化の始まり。	晩婚化、未婚化、結婚の先送り。	
第9回	パラサイトシングル。	親と同居する未成年者。	
第10回	少子化の社会問題化。	経済状況の大きな変化から生じた。	
第11回	未婚化の進展。	男性の非正規雇用の増加。	
第12回	夫婦の生み控え。	経済的要因、セックスレス、離婚。	
第13回	恋愛と結婚の分離。	恋愛結婚の減少。	
第14回	少子化対策の課題。	労働力、社会保障、経済成長、地域格差の是正、家族格差の是正。	
第15回	希望格差対策。	すべての若者に希望のもてる職を与え安定した収入を得させよ。	

評方及評基 価法び価準

授業への参加度20%、ミニテスト40%、定期試験40% 毎回、授業で発表者をつのる、その際に発表内容をレポートとして提出すること。ミニテストは2回行う。授業内容の理解 度と表現力があるかを評価対象とする。定期試験では総合的に見て理解度がどこまでいっているか評価する。

教材 教科書 参考書

『少子社会日本』山田昌弘、岩波新書、2007年。

留意点 必ず予習をしておくこと。発表を重視するので何回発表してもよい。また発表内容をレポート提出すること。

科目名	歴史と社会B		科目		W63014	単位数	2単位	対象	1年	開講	後期
14010	産業と任会は		コード		W 05014	時間	30時間	学年	14	学期	1女 797
区分	教職科目(中一種)	必修	担当者	4	Z	田 和男			授業	講義	単独
E/I	教職科目(高一種【地歴】)	必修	12313	1	4	ш 11177			形態	叶我	丰烟
les elle	人口減少が進み、働きかという意見がある。									_	-
授業の 概要 	それに対し経済学はいる。そのパワーを生				要なのはイノベーショ ラスに転化することが		局齢化とは	まいえ長	生きして	いる人々だ	かたくさん
	はじめに、経済学は歴	中的に	人口問題?	キどう	う見てきたか、「人口	論」を学ぶ					
到達	次に、人口問題が経済人間にとって経済とは	とどの	ようにリン	ンクす	するのか学ぶ。そして			をの低下	、寿命の	延びについ	いて学び、
目標											

		授 業 計 画	
回	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	世界の人口。	日本、中国、世界の人口について。	
第2回	人口爆発。	西ヨーロッパの人口問題について。	
第3回	経済学者の人口論。	マルサスの人口論と、ケインズの人口論。	
第4回	スウェーデンの人口論。	子育て支援の源流。	
第5回	日本の人口減少。	日本が消える?市町村が消える。	
第6回	明治時代の人口。	都市人口ランキング。	
第7回	経済成長と人口。	イノベーションの役割。	
第8回	高度成長の時代。	成長のメカニズム。	
第9回	長寿という果実。	先進国における出生率の低下。日本の推移。	
第10回	ジニ係数。	長寿のジニ係数。	
第11回	経済とぜいたく。	GDPの計測。	
第12回	エンゲルの法則。	成熟経済にかかる下方圧力。	
第13回	ケインズの未来論。	プロダクト・イノベーション。	
第14回	成長か平等か。	定常状態の幸福論。	
第15回	日本経済の将来。	たもん恋の羊袖論。	
評 方 及 評 基 基		、定期試験40% こ発表内容をレポートとして提出すること。ミニテストは2回行う。 、定期試験では総合的に見て理解度がどこまでいっているか評価する。	
教材 教科書 参考書	『人口と日本経済』 吉川 洋 著。中	公新書2388、2016年	
留意点	事前の学習が大切。特に、毎回テーマ	ごとにレポートを用意すること。それをもとにディベートを行う。	

科目名	地誌A		科目コード	W63019	単位数時間	2単位	対象学年	1年	開講学期	前期
						30時間				
区分	教職科目(中一種)	必修	担当者		北村 繁			授業	講義	単独
	教職科目(高一種【地歴】)	必修						形態		
授業の 概要		基礎知 諳	我 ②世界	の気候と大気循環 ③st						
到達 目標	気温・降水量の分布が 通して、気候分類を理			るメカニズムと、気候環	境へ植物がと	iのようにi	適応して	(分布して	いるかを	字ぶことを
				授 業 計	画					
	主題	Ī		授業内容	(授業時間外	の学修を含	きむ)			備考
第1回	地球はまるい①(世界	の形・:	大きさ)	地球が球体であること ついて確認する	の発見の歴史	と地球とし	いう球体	の大きさ	1=	
第2回	地球はまるい②(方位	- 緯度	と経度)	地球が球体である場合 を学習する	、方位と位置	の表し方は	tどのよ	うになる	か	
第3回	植物と気候・大気循環	と気温	の分布	気候と植物の関係につ 学習し、大気循環と気					て	
第4回	大気循環と熱交換			ジェット気流、大気循循環の間で生じる熱交			こついて	学び、大	気	
第5回	降雨のしくみと降水量 (ITCZ)	の分布の	1)	降雨のしくみについて よび亜熱帯高圧帯につ			中東東	(ITCZ)	お	
第6回	降水量の分布②(フェ	ーン、	季節風)	フェーン現象や季節風 で、降雨が生じること		て、様々な	こスケー	ルの現象		
第7回	気候分類①(アリソフ ウェート、ケッペン①		ンス	アリソフ、ソーンスウ	ェート、ケッ	ペンの気候	分類に	ついて学	ぶ	
第8回	気候分類②(ケッペン	2)		ケッペンの気候分類の 習得する(レポート課)気候分	類の方法	を	

第9回		地理学で用いられる植物の分類を知るとともに、湿潤熱帯の環境 について学習する
第10回	湿潤熱帯の環境と植生	湿潤熱帯の環境に植物がどのように適応しているか学習する

季節性熱帯の環境とその環境に適応した植物について学習する 第11回 季節性熱帯の環境と植生

第12回 半乾燥~乾燥熱帯の環境と植生 する 湿潤熱帯の環境の詳細と分布について学習する 第13回 温帯の環境

第14回 温帯の環境と植生 温帯の環境に適応した植物について学習する

第15回 |冷帯の環境と植生、寒帯の環境と植生 |冷帯や寒帯の環境とその環境に適応した植物について学習する

評価 : 方及評基 基準

平常点評価(ロ頭試問および宿題の提出を含む)・試験・小レポート。期末試験(80点満点)、ハレポートの合計(15 点満点)と平常点評価(5点満点)を加えて60点未満は不可。

半乾燥~乾燥熱帯の環境とその環境に適応した植物について学習

教材 教科書 参考書

教科書は指定しないが、地理統計要覧(二宮書店)を購入のこと。その他、資料プリント配布。参考図書は、講義中に紹介するほか、スライドや資料プリントの出典に示す。

留意点 講義中、指名して質問しますので、ご承知おきください。

科目名	地誌B		科目	W63020	単位	-	2単位	対象	1年		開講	後期
118.		г	コード	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	時 	間	30時間	学年			学期	DA75.
区分	教職科目(中一種)	必修	担当者	4	北村 繁	ķ			授業	請	構義	単独
	教職科目(高一種【地歴】)					`			形態	ы	142	1 3004
授業の 概要	[キーワード: 土壌、 ① 土壌の肥沃性 ②=											
到達目標	気候・植生と土壌の関する。	係、お	よび、土均	象分類について学ぶ 。	とともに、環	境の	かでどの	りように	物質が	循環し	している	るかを理解
				授業	計画							
	主題	Ī		授業内	P容(授業時	間外	の学修を含	む)			ſ	備考
第1回	土壌とは何か、土壌の	機能、	肥沃性	土壌の定義について て学ぶ	て考えるとと ヨ	ŧに	、土壌の機	能や肥	沃性につ	つい		
第2回	土はなにからできてい ように形成されるか①			土を構成するものに れていくものなのか		とも	に、土壌が	どのよ	うに形成	式さ		
第3回	土はどのように形成さ 物)、土壌の色①(腐			土壌がどのように形に、土壌の色と肥沢				学習す	るととも	ŧ		
第4回	土と気候①(土壌と気 ②(下層土)	[温] 、	土壌の色	気温と土壌の肥沃性 と温度との関係にて		つい	て考えると	ともに	、土壌の	の色		
第5回	土と気候②(土壌と降	水量)		降水量と土壌の肥汚								
第6回	(小テスト)、土の分 帯	·類、緯	度と気候	第5回までの範囲に に、アリソフの気候 する。								
第7回	湿潤熱帯の環境、湿潤	熱帯の	土壌①	湿潤熱帯の環境につおける土壌生成につ		ると	ともに、湿	潤熱帯	の環境ヿ	ドに		
第8回	湿潤熱帯の土壌②、湿 物質循環、季節性熱帯		環境下の	湿潤熱帯の環境下に とともに、季節性熱				につい	て学習す	する		
第9回	季節性熱帯の環境とそ と物質循環	の環境	下の土壌	季節性熱帯の環境下 る	「における土場	襄生	成と物質循	環につ	いて学習	習す		
第10回	温帯の環境、および、 境	湿潤な	温帯の環	温帯について学習す	けるとともに、	. 湿	潤な温帯の	環境に	ついて	学ぶ		
第11回	湿潤な温帯環境下の土	壌と物	質循環	湿潤な温帯の環境下 る	「における土均	襄生	成と物質循	環につ	いて学習	習す		
第12回	乾燥した温帯の環境と 境下の土壌と物質循環	乾燥し	た温帯環	乾燥した温帯の環境 下における土壌生成					温帯の理	環境		
第13回	半乾燥~乾燥熱帯の環 の土壌			半乾燥~乾燥熱帯の 帯の環境下における						喿熱		
第14回	冷帯・寒帯環境とその 物質循環	環境下	の土壌と	冷帯・寒帯の環境に おける土壌生成と物				・寒帯	の環境ヿ	トに		
第15回	火山灰土			火山灰土壌の性質、	土壌生成、和	利用	について学	習する				
評価 方法び 評価 基準	平常点評価(口頭試問 平常点評価(5点満点				小テスト。期	末試	忧験(80♬	点満点)	、小テ	スト	(15点	満点)と
教材 教科書 参考書	教科書は指定しない。	資料プ	リント配ね	布。参考図書は、講	義中に紹介す	るほ	₹か、スラ <i><</i>	イドや資	料プリ	ントの	の出典に	こ示す。
留意点	講義中、指名して質問	します	ので、ごタ	承知おきください。								

科目名	3 人文地理学A 科目 コード		W63015	単位数	2単位	対象	2年	開講学期	前期	
		1	7 - 7		時間	30時間			子規	
区分	教職科目(中一種)	必修	担当者名	Z	北村 繁			授業	講義	単独
<u> </u> 27]	教職科目(高一種【地歴】)	必修	12313	•	10/17 系			形態	叶秋	+-077
授業の 概要	[キーワード: 地図、 地図の利用と作成 ①			図] !図および電子地図の利	用法 ③主是	夏図作成の』	原理と実	経際 ④GI	Sの基礎	
到達 目標				「は、人文地理の基礎と 地理解析する方法の基			習形式で	の学習を	通して、ナ	也図の読
				授業計	画					
0	主題			授業内容	(授業時間外	の学修を含	<u>*</u> ರ)			備考
第1回	地図とは何か・距離と縮	尺		地図の定義、ならびに、闘	距と縮尺に	ついて学ぶ				
第2回	方位	方位の定義、真北と磁北、地球上の球面上での東西の方向などにつ いて学ぶ								
第3回	緯度·経度			緯度と経度を用いた位置	の表し方とそ	の利用につ	いて学る	23		
第4回	地図投影法			地球の表面という球面の 学ぶ	情報を、地図	という平面に	表す方	法につい		
第5回	UTM図法・地形図の読	み方①		大縮尺の地図で用いられ 院発行の2万5千分の1均				国土地理		
第6回	地形図の読み方②(図ュ	式と地図		2万5千分の1地形図の図 ても学習する	図式について	学び、地図記	記号の示	し方につい		
第7回	地形図の読み方③(計)	則)		2万5千分の1地形図から ついて学ぶ(地形図の読						吏用
第8回	地図の作り方			実際に簡易測量を行うこ	とにより、測量	の基礎を学	:\$			
第9回	主題図			主題図を実際に作成する 題図に関するレポート出り		、主題図にイ	ついて学	習する(主		
第10回	電子地図の使い方①			電子地図の基礎を学ぶと (地図画像)を用いて、ラ						
第11回	電子地図の使い方②			国土地理院発行の数値 ^は ル標高モデル)とその利力			:用いてI	EM(デジ	タ	
第12回	電子地図の使い方③			異なる電子地図を重ね合 る情報が読み取れることを		より、より詳糸	細な読み	取りや異な	1	
第13回	電子地図の作り方			ワープロソフト上に地図を 地図を作成することを通し	て、電子地図	図の利用の同	可能性に	ついて学		
第14回	インターネット地図の使り	い方①		電子国土基本図、マピオ きる電子地図について学	習する					
第15回	インターネット地図の使り	い方②		グーグルアースなどにつ 表現する方法を身につけ む)						
評価 方及評 基 準	平常点評価(口頭試問を	を含む) と	ピレポート({	B回)。レポートの合計点(95点満点)に	工常点評価	西(5点満	点)を加え	て60点未	満は不可
教材 教科書 参考書	教科書は指定しない。資	資料プリン	/卜配布。参	考図書は、講義中に紹介	个するほか、ス	ミライドや資料	斗プリント	の出典に	示す。	
留意点				・三角定規・ものさし・分界 して質問しますので、ご承			こ、地形	図・土地利	用図等(合	計2000F

科目名	人文地理学B 科 コー		開講 後期							
区分	教職科目(中一種) 必修 担: 教職科目(高一種【地歴】) 必修	+22 48-	構義 単独							
受業の 概要	[キーワード: 立地論、GIS] 立地論とGIS ①立地論の基礎とな ⑤交通地理学 ⑥時間地理学 ⑦G	る ②農業立地論 ③工業立地論 ④中心地論 ⑤都市システム ⑥都 ISの利用	市の内部構造							
到達 目標	人文地理の中でも、特に、立地論に GISを用いた地理解析についても学	こついて学び、現代の地理解析の基礎となる古典的な理論・方法論を修 行 ぶ。	导する。また、							
<u> </u>	主題	授業計画 授業内容(授業時間外の学修を含む)								
第1回	数値解析の基礎	簡単な解析事例から、数値を用いて仮説の検証を行う方法の概要 を理解する								
第2回	修正ウィーバー法	修正ウィーバー法の学習を通じて、数値を用いて仮説の検証を行 う方法についての理解を深める(レポート課題の出題を含む)								
第3回	チューネンの孤立国	立地論の最も古典的なモデルであるチューネンの孤立国について学ぶ								
第4回	ウェーバーの工業立地論	立地論の古典的なモデルのひとつであるウェーバーの工業立地論 を学習する								
第5回	クリスタラーとレッシュの中心地調	都市地理学の基礎的なモデルのひとつであるクリスタラーの中心								
第6回	都市システム① (解析事例)	研究事例を学ぶことにより、クリスタラーの中心地論から導かれる都市の階層構造について理解する								
第7回	都市システム②(都市人口-順位法	都市人口と順位のグラフの作成を通して、都市の階層構造について理解を深める (レポート課題の出題を含む)								
第8回	都市の内部構造① (商業立地論)	商業立地論の学習を通じて、都市の内部構造について学ぶ								
第9回	都市の内部構造②(住み分け)	バージェスやホイトの住み分けのモデルについて学習し、都市の 内部構造についての理解を深める								
第10回	都市の内部構造③(欧州・日本の事	都市の内部構造のモデルを欧州や日本に適用した事例を学び、都 市の内部構造の解析方法について学習する								
第11回	都市の内部構造④(モデル解析)	都市の内部構造④ (モデル解析) デジタル化した土地利用図を用い地理解析を行うことを通して、 都市の内部構造について考察する (レポート課題の出題を含む)								
第12回	交通システム・重力モデル	交通地理学の基礎的な考え方と都市間流動に関する重力モデルに ついて学習する								
第13回	施設立地論	立地論の応用として、施設立地に関する事例について学習し、立 地論のモデルがどのように地理解析に利用されるかを知る								
第14回	GISを利用した解析①	GISソフトのひとつであるGRASSを用いて、GISの原理と利用の基 礎を学ぶ	りひとつであるGRASSを用いて、GISの原理と利用の基							
	GISを利用した解析②	GRASSを用いて、GISを用いた簡単な地理解析を学習する								

評価 方法 及び価準

平常点評価(口頭試問を含む)とレポート(3回)。レポートの合計点(95点満点)と平常点評価(5点満点)を加えて 60点未満は不可。

教科書 教科書は指定しない。資料プリント配布。参考図書は、講義中に紹介するほか、スライドや資料プリントの出典に示す。 参考書

レポートの作成に、色鉛筆・電卓・三角定規・ものさし・分度器・コンパス等が必要になる場合がある。 **留意点** 講義中、指名して質問しますので、ご承知おきください。

科目名	自然地理学A	科目コード	W63017	単位数時間	2単位	対象学年	2年	2年 開講 学期		
		- '		NA IN	30時間	7-		7.41	ļ	
区分	教職科目(中一種) 必何	修 担当者4		北村 繁			授業	講義	単独	
<u></u>	教職科目(高一種【地歴】) 必何	修					形態	叶子子文	<u></u>	
授業の 概要	[キーワード: 地形学・サ ①地形に関する資料の読み 地形 ④火山地形				 9出す地形	③地震	を生じさ	せる活動が	が生み出	
到達目標	自然地理学の中でも特に地 める。	!形学の基礎的	7な方法論・理論を学習	するとともに	こ、地形を刑	形成する	自然現象	についての	万理解を	
			授業計	画						
0	主 題		授業内容	(授業時間外	 の学修を含	きむ)		1	備考	
第1回	地形図の読み方①(標高)		等高線から標高を読み取 て、標高を読む練習をす							
第2回	地形図の読み方②(地形断記	空言始から地形な港の版を大法を受羽し、地形版面図の版成な話』								
第3回	地形図の読み方③(尾根と谷		尾根・谷の記入を通して、 に関するレポート課題の		- 練習をする(地形図の	り読み取り			
第4回	空中写真地図の利用		ステレオ・ペアの実体視り ることを学習する	こより空中写真	重から地形を	読み取る	ることができ	ŧ		
第5回	地形輪廻、山地の地形、扇状		地形発達の基本となる考 れる地形について学ぶ	え方を学習し	、山地と山地	世の縁辺	!部に形成	さ		
第6回	自然堤防、氾濫原、デルタ、		平野にみられる地形とその 氾濫による災害について		一ついて学習	するとと	もに、河川			
第7回	段丘と気候変動		海岸段丘について学び、	気候変動との)関連性につ	ついて考.	える			
第8回	段丘と地盤隆起		海岸段丘や河岸段丘から	地盤の隆起	を考える					
第9回	地震断層、活断層と地形		地震断層について学ぶと	ともに、活断	層と断層地形	形につい	て学習す	る		
第10回	断層と広域応力場		断層地形から広域応力場	景について考え	える					
第11回	世界の地形と地質		陸地と海底の大地形と地 する	質について学	全び、プレー	ト運動に	.ついて考	察		
第12回	プレート理論		プレート理論とマントル対 ポート課題の出題を含む	D -= 10 -10 - 1	って学習する	5(地形に	ニ関するレ			
第13回	火山とは何か		火山の定義と火山に関連	 した用語につ	 ついて学習す	 - -				
第14回	火山とプレート理論		火山の分布とプレート理語	論との関連性	—— について学 ³	— 習する				
第15回	地形の年齢のはかり方 年代や年代測定の方法について学習する									
評価 方及 評価 基準	平常点評価(口頭試問を含む 不可。	 ひ)とレポート(<u>2</u>	 2回を予定)。レポートの合	 }計点(95点流	満点)と平常	点評価(5点満点)	を加えて60)点未満	
教材 教科書 参考書	教科書は指定しない。資料フ	プリント配布。 参 	*考図書は、講義中に紹介	トするほか、ス 	ベライドや資料	ーーーー 斗プリント 	 ・の出典に <u></u>	 示す。 		
留意点	12色程度の色鉛筆・定規が必	 必要。また、講	 義中、指名して質問します	一ので、ご承知	ーー ロおきください	⟨\` _o				

科目名	自然地理学B		科目コード	W63018	単位数時間	2単位 30時間	対象学年	2年	開講学期	後期
巨八	教職科目(中一種)	必修	+0 14 14 1		レナナ <i>細</i> ケ			授業	淮 羊	出 yith
区分 	教職科目(高一種【地歴】)	必修	担当者名	5	比村 繁			形態	講義	単独
1 - Alla -	[キーワード: 火山、 ①火山地形②火山噴火		災害、自然の豊かさ、減災] 災害③火山の恵み④火山周辺地域の減災・防災							

授業の 概要

身近な地形の中で、特に、火山地形を取り上げ、火山地形を形成するプロセス=噴火と、噴火に伴う火山災害、および、その防災・減災について学ぶ。また、同時に、なぜ人間が火山災害を被るような地域に住み続けてきたか考える。

到達 目標

授 業 計 画

	主 題	授業内容(授業時間外の学修を含む)	備考
第1回	火山とは何か	火山の定義と火山に関連した用語を整理する	
第2回	火山地形	火山を形からとらえる	
第3回	火山地形2、噴火で放出されるもの	火山を形からとらえる、噴火の概要を理解する	
第4回	マグマの性質	マグマが性質から分類されること、また、分類されたマグマがそれぞれどのような性質をもつかを知る	
第5回	溶岩流とその分類	様々な溶岩流について学習し、その性質とマグマとの関連性についても考える	
第6回	溶岩流による災害	溶岩流によってどのような災害が生じるかを学習する	
第7回	降下火山灰と火山地形	降下火山灰について学習し、それが作り出す地形を知る	
第8回	降下火山灰による災害	降下火山灰によってどのような災害が生じるかを学習する	
第9回	火砕流の性質と災害	熱雲の学習を通して、火砕流の性質と災害について学ぶ	
第10回	火砕流と火山地形	軽石流や大規模火砕流と呼ばれる火砕流とそれを発生させる噴火によって、どのような地形や災害が生じるかを知る	
第11回	山体崩壊・岩屑なだれと津波	火山性の大規模な山体崩壊とそれによって生じる岩屑なだれにつ いて学び、それによって発生する災害についても学習する	
第12回	火山泥流と災害	火山泥流について学び、それによって生じる災害について学習す る	
第13回	火山ガスと災害	火山ガスとそれによって生じる災害について学習する	
第14回	火山の恵み	火山が人間にもたらす恵みについて多角的に学習する	
第15回	火山周辺地域の減災・防災	火山災害の軽減や防止のためのとりくみについて学習する	

及び 評価 基準

点評価(5点満点)を加えて60点未満は不可。

教材 教科書 教科書は指定しない。資料プリント配布。参考図書は、講義中に紹介するほか、スライドや資料プリントの出典に示す。 **参考書**

履修にあたっては、火山について、自然地理Aの講義程度の知識があった方が望ましい。 **留意点** 講義中、指名して質問しますので、ご承知おきください。

								2単位				
科目名	英語 I		科目コード	W	24001		単位数 時間	60時間	対象学年	1年	開講学期	通年
区分	社会福祉学支援科	目 選必	担当者名			奥	野忠徳	00.14 [14]		授業形態	講義	単独
授業の 概要	英語による日常表現	見の訓練。										
到達目標	場面に即した内容を	英語で即座	に話せるよ	うになる技	術を身に	こつける	0					
				ž	受 業	計画						
0	主 題	授業内容(授	業時間外の学	学修を含む)	備考	0	Ė	上題	授業内容	!(授業時	間外の学修を含む	む)備考
第1回	イントロダクション	自分に関する	ら自己紹介の紹	練習		第16回	少し複雑な (5)	英語表現	必要・義	務を述へ	: :る	
第2回	簡単な英語表現 (1)	自分の心身の)状態を述べ	る		第17回	少し複雑な (6)	英語表現	感動を述	べる		
第3回	簡単な英語表現 (2)	人の性格・性	生質を述べる			第18回	少し複雑な (7)	英語表現	すでに行	ったこと	を述べる	
第4回	簡単な英語表現 (3)	今日の状況・	曜日を述べ	る		第19回	少し複雑な (8)	英語表現	決心を述	べる		
第5回	簡単な英語表現 (4)	眼前の物を述	述べる			第20回	少し複雑な (9)	英語表現	忘れたこ	とを述べ	べる	
第6回	簡単な英語表現 (5)	現在進行中の)出来事を述ん	べる		第21回	少し複雑な (10)	英語表現	願望を述	べる		
第7回	簡単な英語表現 (6)	存在物を述べ	 <			第22回	高度な英語 (1)	表現	文句を言	う		
第8回	簡単な英語表現 (7)	場所を述べる	5			第23回	高度な英語 (2)	表現	自分であ	ればどう	するかを述べ	ర
第9回	簡単な英語表現 (8)	物の内容につ	ついて述べる			第24回	高度な英語 (3)	表現	時間やお 述べる	金に余裕	浴がある・ない	を
第10回	簡単な英語表現 (9)	日時について	述べる			第25回	高度な英語 (4)	表現	人にアド	バイスを	を与える	
第11回	簡単な英語表現 (10)	願望を述べる	5			第26回	高度な英語 (5)	表現	外国でエす	ンターラ	・インメントを	探
第12回	少し複雑な英語表現 (1)	未来の出来事	手を述べる			第27回	高度な英語 (6)	表現	アンケー	トに回答	きする	
第13回	少し複雑な英語表現 (2)	これからする	ことを述べ	る		第28回	高度な英語 (7)	表現	食事に関	する表現	見の練習	
第14回	少し複雑な英語表現 (3)	予想を述べる	5			第29回	高度な英語 (8)	表現	ペットに	ついて対	<u>t</u> べる	
第15回	少し複雑な英語表現 (4)	確信を述べる	5			第30回	総復習		1年の総行	复習を行	ō	
評方及評基 基 ・	毎週行うトレーニン 簡単な英語での会話											
教材 教科書 参考書	教科書は使用しませ	せん。										
留意点	英語の徹底的なトレ	ィーニングな	ので、欠席	はしないよ	うにし	てくださ	い。					

科目名	英語 I		科目コード	W	24002		単位数時間	2単位 60時間	対象学年	1年	開講学期	通年
区分	社会福祉学支援科	目 選必	担当者名			澤	田真一			授業形態	講義	単独
授業の 概要	英語の読解力を養 の理解を深めます。 げ、生きた英語の表	映画のスク	リプトやスヒ	゚゠゚゠	ュース	ウポエム	など、学生					
到達 目標	英語を好きになる。	英語の構造	に注意を払し	いながら、	正しく記	売めるよ	うになる。	英語を使っ	て自己を	表現ができ	るようにな	る。
				į	受 業	計画						
0	主 題	授業内容(授	業時間外の学	多を含む)	備考	0	Ė	上題	授業内容	图(授業時間	外の学修を含	む) 備ま
第1回	前期導入	イントロダク	1 ション			第16回	後期導入		イントロ	コダクション	·	
第2回	ディスカッション	なぜ英語を勉	並強するのか			第17回	コミュニケ	ーション4	対話の仕	上方		
第3回	コミュニケーション	自己表現				第18回	コミュニケ	ーション5	対話の仕	上方		
第4回	コミュニケーション2	自己表現				第19回	ライティン	, グ 3	英語で物	南語を書く		
第5回	ライティング 1	英語で詩を書				第20回	ライティン	, グ 4	エディテ	・ィング		
第6回	ライティング 2	詩の鑑賞・訪	说明			第21回	ライティン	, グ 5	物語の鑑	监賞・説明		
第7回	ビデオ	鑑賞				第22回	ビデオ		鑑賞			
第8回	ディスカッション	スクリプトの)読解			第23回	ディスカッ	ション	スクリフ	プトの読解		
第9回	コミュニケーション3	写真を用い <i>た</i>	−家族の紹介			第24回	コミュニケ	ーション6	本の紹介	`		
第10回	リーディング 1	ノン・フィク	1 ション			第25回	リーディン	グ 4	フィクシ	/ョン		
第11回	リーディング 2	ノン・フィク	7 ション			第26回	リーディン	, グ 5	フィクシ	ノョン		
第12回	リーディング3	ノン・フィク	7 ション			第27回	リーディン	, グ 6	フィクシ	/ョン		
第13回	スピーチ1	英語での弁論	À			第28回	スピーチ3		英語での	弁論		
第14回	スピーチ2	英語での弁論	À			第29回	スピーチ4		英語での	弁論		
第15回	前期試験	まとめと試験	È			第30回	後期試験		まとめと	:試験		
評価 方法 及評価 基準	言語活動20%、/ 己表現ができている 題を出します。	ペーティシペ かを重視し	イション・ホ ます。試験で	ペイント2 では、講義	: 0%、類 まで扱っ <i>†</i>	期末試験 た教材に	60% 至 ついてのが	削達目標に照 な法・読解問	lらし合材 l題と、E	つせ、自発 自分の考え	的に正しし を述べるコ	\英語で自 □ッセー問
教材 教科書 参考書	授業時にプリントを	を配布します	0									

留意点 何よりも学生の自主性を重視します。

科目名	ドイツ記	吾	科目コード	W	24003		単位数 時間	2単位	対象学年	1年		開講学期	通年
区分	社会福祉学支援科	目 選必	担当者名			田	中 岩男			授業形態	講	義	単独
授業の 概要	[キーワード:聞ぐ ドイツ語の基礎的 ドイツ語の学習を	な運用能力	(聞く、話す			ツ文化 <i>0</i>)一端に触	れる。					
到達目標	・ごく簡単な日常・基礎的なドイツ			ツ語コミュ	ュニケー	・ション旬	 も力の養成						
				ŧ	受業	計画							
	主題	授業内容(授	業時間外の学	修を含む)	備考	0	É	E題	授業内容	(授業時間	引外の学	修を含む	(情考
第1回	つづりと発音 (1)	アルファベ	ートと簡単な	挨拶		第16回	前期復習		復習と	コミュニ・	ケーシ	ョン演	<u> </u>
第2回	つづりと発音 (2)	母音と子音	、数の読み方			第17回	カフェに行 ましょう	i き (1)	7課:前	丁置詞の 使	い方		
第3回	ホンダミカと申し ます(1)	1課:人称代	t名詞と動詞 <i>の</i>	のかたち		第18回	カフェに行 ましょう (· き (2)	7課:網	習問題と	演習		
第4回	ホンダミカと申し ます(2)	1課:練習問	題と演習			第19回	写真を撮っ	ていい?(1)	8課:助	動詞の用	法		
第5回	何を飲むの? (1)	2課:名詞σ)性と語順			第20回	写真を撮っ	ていい?(2)	8課:網				
第6回	何を飲むの? (2)	2課:練習問	題と演習			第21回	列車は何時に	こ出るの? (1)	9課:分	離する動	前の用	月法	
第7回	そのカサいくら ですか(1)	3課:定冠詞	目と名詞の格			第22回	列車は何時	こ出るの? (2)	9課:網	習問題と	:演習		
第8回	そのカサいくら ですか(2)	3課:練習問	問と演習			第23回	サッカーに	興味ある?(1)	10課:	再帰動詞	とその	用法	
第9回	コーヒー 1 杯 ください(1)	4課:不定冠	記詞とその仲間					興味ある?(2)	10課:	練習問題	と演習		
第10回	コーヒー1杯ください(2)	4課:練習問	問題と演習			第25回	モーツァル ね?(1)		11課:!	動詞の三	基本形	と過去	寺称
第11回	バスは何時に 出ますか(1) バスは何時に		川に変化する動	助詞 (1)		第26回	14 : (Z)		11課: #	練習問題	と演習		
第12回	出ますか(2)	5課:練習問		4.=3 /O		第27回	C/EO ? (1)			現在完了			
	何を注文する?(1)		明に変化する動	以詞 (2)		第28回	ミュンヘン したの?(2) 総復習	- 1. C.70 M		練習問題			1
第14回	何を注文する?(2)	6課:練習問					総復首		後期の総		- ショ	コノ供首	
- N1.0E				_\dagger	<u> </u>		3.20		100 101 05 1/V				
評価 方法 及び 評価 基準	出席状況・授業へ授業への参加度(定期試験では、基	出席状況を含	含む) 50%	定期試験	50%	0							
教材 教科書 参考書	「イン・ドイチュラント―ドイツ語インフォメーション 映像付」(朝日出版社)を教科書として使います。 「やさしい!ドイツ語の学習辞典」(同学社)を推薦します。												
留意点	福島伸雄教官担当楽しみながら、新							₹す。					

취모수	Is Zw	, ÷r	科目	W24004		単位数	4単位	対象	1/5	開講	マケ
科目名	ドイツ	带	コード	W24004		時間	60時間	学年	1年	学期	通年
区分	外国語系列科	目 選必	担当者名		福	島伸雄		1	授業形態	講義	単独
授業の 概要	ドイツ語を学びな	:がら、ドイツ(の文化や歴史	にふれましょう。)						
到達 目標	基本的な会話をで	きるようにし、	、ドイツ語の	文を読めるよう	になる。						
	1			授業	計画						
回	主題	授業内容(授	業時間外の学修	を含む) 備考	0	Ė	E題	授業内容	『(授業時間	間外の学修を含	(おお) 備考
第1回	つづりと発音(1)	アルファベー	·卜、母音		第16回	復習		1~6課の)復習		
第2回	つづりと発音(2)	子音			第17回	カフェに行 (1)	きましょう	第7課:	前置詞		
第3回	ホンダミカと 申します(1)	第1課:動詞	の現在人称変化	1	第18回	カフェに行 (2)	きましょう	第7課:	Dialog		
第4回	ホンダミカと 申します(2)	第1課:Dialo	og		第19回	写真を撮っ	てもいい(1)	第8課:	話法の助!	動詞	
第5回	何を飲むの(1)	第2課:疑問3	文		第20回	写真を撮っ	てもいい(2)	第8課:	Dialog		
第6回	何を飲むの(2)	第2課:Dialo	og		第21回	列車は何時	に出るの(1)	第9課:	時刻表現		
第7回	その傘はいくら ですか(1)	第3課:定冠語	詞と名詞の格変	EIL	第22回	列車は何時	に出るの(2)	第9課:	Dialog		
第8回	その傘はいくら ですか(2)	第3課:Dialo	g		第23回	サッカーに (1)	興味ある?	第10課:	再帰動詞]	
第9回	コーヒーを1杯 ください(1)	第4課:不定	 迂詞		第24回	サッカーに (2)	興味ある?	第10課:	Dialog		
第10回	コーヒーを1杯 ください(2)	第4課:Dialo	og		第25回	モーツァル ね(1)	・トだったよ	第11課:	過去形		
第11回	バスは何時に 出ますか?(1)	第5課:不規則	則に変化する動	为詞 (1)	第26回	モーツァル ね(2)	・トだったよ	第11課:	Dialog		
第12回	バスは何時に 出ますか?(2)	第5課:Dialo	og		第27回	ミュンヘン したの(1)	で何を見物	第12課:	現在完了	•	
第13回	何を注文する(1)	第6課:不規則	則に変化する動	力詞 (2)	第28回	ミュンヘン したの(2)	で何を見物	第12課:	Dialog		
第14回	何を注文する(2)	第6課:Dialo	og		第29回	総復習		7~12課	の復習		
第15回	まとめ	学習内容の総	仕上げ		第30回	まとめ		学習内容	ドの総仕上	:げ	
評方及 評方及 評基 基準	授業への参加度(合して評価しま、前期期末試験		後期期末記	∜験を1回ず	うつ行いる	ます。		<u>'</u>
教材 教科書 参考書	『イン・ドイチュ	ラントードイン		メーション映像 ドイツ語の学習:					用します。	3	
留意点	田中岩男先生と共 La	通の教科書を angsam. Aber s		ゆっくりと、し	かし確実	に!					

科目名	フランス	語	科目コード	W	24005		単位数時間	2単位	対象	1年	開講学期	通年
								60時間				
区分	社会福祉学支援科	·目 選必	担当者名			松	山 和子			授業形態	講義	単独
授業の 概要	使用テキストに沿っ使ってみることで多ける。	発音や文法事	項を無理なく	(自然に定	着する。							
到達 目標	フランス語で自己組	4介や簡単な	会話ができる	らよっにな	る!							
	,			抒	受 業	計画						
回	主 題	授業内容(授	そ業時間外の学	修を含む)	備考	0	ŧ	題	授業内容	7(授業時間分	トの学修を含	(む) 備考
第1回	フランス語の挨拶と 教室で使う表現		3よび発音と綴 発音練習→実践			第16回	日付を言う 注文する	・カフェで	方やカフ	·補足1・2 /ェでの注文 諫習(ロール	の仕方を引	きぶ
第2回	自己紹介をする(名 前・国籍・出身地) ①	聞く→内容抵	課: 本文(記 理と文法説明 つせと例文作り	→発音練		第17回	食べ物・飲 勧める①	み物などを	テキスト を聞く-	·第7課; ·第7課; ·内容把握と ·読み合わせ	本文(会話 : 文法説明-) →発
第3回	自己紹介をする(名 前・国籍・出身地) ②	前回の学習内	N容の復習→応 こ分かれて短文	用と実践		第18回	食べ物・飲 勧める②	み物などを	前回の学 践(グル	習内容の復 一プに分か 大を作り発	[習→応用と れて短文や	:実
第4回	人について語る (職 業・住んでいる所・ 話せる言語) ①	テキスト第 2 聞く→内容指	/元衣/ 2課: 本文(: 型握と文法説明 oせと例文作り	→発音練		第19回	位置関係を	示す①	テキスト を聞く-	・第8課; ・ ・ ・ ・ ・ ・ お の 容 把握 と ・ ・ 読 み 合 わ も し も も も も も も も も も も も も も	本文(会話 : 文法説明-	→発
第5回		前回の学習内	内容の復習→応 に分かれて短文	用と実践		第20回	位置関係を	示す②	前回の学 践(グル	習内容の復 ループに分か 文を作り発	[習→応用と へれて短文ヤ	: 実
第6回	持ち物についてたず ねる①	テキスト第3 聞く→内容指	3課; 本文(記 記握と文法説明 つせと例文作り	→発音練		第21回	贈り物の相	談をする①	テキスト を聞く-	・第9課; ・内容把握と ・読み合わせ	本文(会話 : 文法説明-	→発
第7回	持ち物についてたず ねる②	前回の学習内	内容の復習→応 に分かれて短文	用と実践		第22回	贈り物の相	談をする②	前回の学 践(グル	学習内容の復 ノープに分か 計文を作り発	[習→応用と へれて短文ヤ	: 実
第8回	好き嫌い①	聞く→内容抵	1課; 本文(: 型握と文法説明 oせと例文作り	→発音練		第23回	過去の行為 語る①	、出来事を	聞く→内	第10課; 注容把握と文法 わせと例文作	説明→発音	
第9回	好き嫌い②		内容の復習→応 □分かれて短文 リ発表)			第24回	過去の行為 語る②	、出来事を	践(グル	習内容の後 ノープに分か 大を作り発	れて短文ヤ	
第10回	行先を言う①	聞く→内容担 習→読み合れ	5課; 本文(1 四握と文法説明 oせと例文作り]→発音練		第25回	過去の行為 語る③	、出来事を	聞く→内	第11課; 容把握と文法 わせと例文作	説明→発音	を練習
第11回	行先を言う②	(グループに 会話文を作り		や簡単な		第26回	過去の行為 語る④	、出来事を	践(グル	学習内容の復 シープに分か ま文を作り発	れて短文や	
第12回	家族を紹介する①	聞く→内容担 習→読み合え	3課; 本文(: 四握と文法説明 oせと例文作り]→発音練		第27回	過去の日常 る・習慣を	や習慣を語 述べる①	聞く→内 →読み合	第12課; 容把握と文法 わせと例文作	:説明→発音: :り	練習
第13回	家族を紹介する②		N容の復習→応 こ分かれて短文 J発表)			第28回	過去の日常 る・習慣を	や習慣を語 述べる②	践(グル単な会話	智内容の復 ノープに分か 文を作り発	れて短文ヤ 表)	b簡
第14回	前期のまとめ①		Ⅰ課~第5課の 品紹介文を作っ			第29回	後期のまと	b 1	の現在形	第7課〜第9 を用い、グル テーマを設定 る!	ープに分か	れて
第15回	前期のまとめ②		5課の学習内容 紹介文を作って			第30回	後期のまと	め ②	動詞の過	- 第 1 0 課〜第 去形を用い、 ぞれテーマを みる!	グループに	分か
評価 方よび 評価 基準	平常点評価 50% 毎回テキストに沿っ 際に声を出してフラ んだことがどれだけ	って基本的な ランス語を使	文法事項や表 う練習をする	らので、そ								
教材 教科書 参考書	『新・オン・プララ	ティック -	使える・発音	音 (はな)	せるフラ	ランス語	- 』 朝日	出版社				
密意点	フランス語による=	コミュニケー	ションための)クラスな	ので、と	どんどん	声を出し、	積極的に参	加するこ	EŁ!		

			科目				単位数	2単位	対象	_	開講	
科目名	フランス記	吾	コード	W24	006		時間	60時間	学年	1年	学期	通年
区分	社会福祉学支援科	目 選必	担当者名			I.	藤貴子			授業形態	講義	単独
授業の 概要	フランス語の基本的から説明を加え、さわっており(たとえ)につけ、正しい発音	らに応用さ ばouのスペル fができるよ	せて多様な表 レは必ず[u]と うになれば、	現に広げる 発音されま フランス語	ことが す)、 の楽し	ができる この点に いさはさ	ようにしま は英語と大き らに増すこ	す。また、 きく異なる\$ ことでしょう	フラン <i>7</i> 寺徴です 。	く語のスペ <i>ル</i> 。この深い	レは音と密 関連をしっ	接に関 かりと身
到達 目標	1. 外国語に苦手意 語で紹介できる 3.							分や目分の	周りのノ	(モノ) (こついて、	フランス
	1				る)						
0	主 題	授業内容(授	業時間外の学修	を含む)(備考	0	Ė	題	授業内容	F(授業時間外	の学修を含む	() 備考
第1回	アルファベ	自分の名前を 記)	言う/アルファ	ァベ(暗		第16回	所有形容詞	(1)	自分の家 詞「私の		る、所有形	容
第2回	名前を聞く、言う	第三者の名前 ファベで言う	がとそのスペルる う	をアル		第17回	所有形容詞	(2)		で 族構成につ 派を詞「あ での」		皮
第3回	国籍の女性形	自分や第三者	舌の国籍を言う			第18回	所有形容詞	まとめ	問題演習	で定着を図	る	
第4回	主語人称代名詞と動 詞être活用	êtreを使って (活用練習)	国籍や出身地を	を言う		第19回	部分冠詞		不定冠詞 念を整理	『・定冠詞・ 』する	部分冠詞の	既
第5回	職業の女性形	(être活用テ 業を言う	スト)自分や第3	三者の職		第20回	動詞prendr	e活用		ニューを説 e活用練習)	明する	
第6回	第一群規則動詞(1)		ころ、話せる記 則動詞活用練習			第21回	形容詞の性 容詞の位置	の一致、形 (原則)	他者の外	見・性格の説	明を理解する	
第7回	第一群規則動詞(2)	(第一群規則)を言う	動詞活用テスト) 好み		第22回	形容詞の性 容詞の位置	数一致、形	自分の外	見・性格を	説明する	
第8回	名詞の性と定冠詞	問題演習を通 解する	通して定冠詞の 値	動きを理		第23回	色の形容詞		物の特徴	かを説明する		
第9回	動詞avoir 活用	年齢を言う				第24回	場所を示す	前置詞(句)	建物の位	産産を説明す	る	
第10回	動詞avoir、不定冠詞	持ち物につし 習)	ヽて尋ねる(avoi	r活用練		第25回	前置詞と定 (2)	冠詞の縮約	物の位置	遺関係を説明	する	
第11回	否定文と否定のde	(avoir活用ラ	-スト)兄弟構成	を言う		第26回	命令文、部	分冠詞復習	料理のレ	シピを読む		
第12回	動詞aller活用	交通手段を言	t o			第27回	複合過去(即	助動詞avoir)	過去を語	る(1)		
第13回	動詞aller活用、前 置詞と定冠詞の縮約 (1)	行き先を言う	;			第28回	複合過去(即	助動詞être)	過去を語	る(2)		
第14回	中性代名詞	行き先を言う	j			第29回	複合過去の	否定形	過去を語	る(3)		
第15回	前期まとめ+試験	文法事項を中	中心に総復習			第30回	後期まとめ	+試験	文法事項	を中心に総	復習	
評方及評基 本	授業への参加度10% 80%)	á、小テスト	10%、期末試	験80%(内	容理角	解を問う	リスニング	『問題20~30)%、文法	去知識を問 [、]	う筆記問題	70~
教村 教科書 参考書	Nouveau On Pratiq	ue!『新・フ	オン・プラティ	ィック!−使	える	• 発音():	はな) せるこ	フランス語』	(朝日出	版社)北村	亜矢子ほか	著
留意点	もう一方のフランス きる限り毎回出席し 課題、小テストの有 lutetia_lutetia@ya	、テキスト ī無をクラス	のどこをやっ'	ているかを	把握す	トるよう	心掛けてく	ださい。欠	席した場	場合は、授業		

科目名	英語 🏻		科目コード	W240	007	単位数 時間	2単位 60時間	対象学年	2年	開講学期	通年	
区分	社会福祉学支援科 教職科目	·目 選択 必修	担当者名	ゥ	オータース・	・グレン・	ユースタス		授業形態	講義	単独	
受業の 概要	In this course, range of situati questions about	ons. Upon	completion	of the co	urse, stude	nts will						
到達 目標	In this course, range of situati questions about	the student ons. Upon	s will deve	lop strong	ger skills urse, stude	to read nts will						
	主題	1	業時間外の学修	授	業計画		主題			外の学修を含む	(2) 備:	
第1回	Course Orientation and teacher		explains c			Course orientat instruct	ion and		ctor exp	lains cour		
第2回	UNIT 1 A world of difference	differenti	ill learn t ate between understand		第17回	LINIT 1 N	10 place		system,	study <i>The</i> Spoken		
第3回	UNIT 2 The work week	Students wand practi	ill read a ce Simple a tenses.	nd	第18回	UNIT 2 there, d	Been lone that!	practi		learn and nt <i>Perfect</i> tinuous.	t	
第4回	UNIT 3 Good times, bad times	Romeo and able to an	ill read ab Juliet and swer the in the unit	be	第19回	UNIT 3 W story!	lhat a	II.	tand <i>Nar</i>	learn and <i>rative</i>		
第5回	UNIT 4 Getting it right	and answer	ill read ab questions e 1970s and	about	第20回	UNIT 4 N but the			tand <i>Que</i>	study and stions and		
第6回	UNIT 5 Our changing world	study Futu	ill read an re possibil the future 60.	ities.	第21回	UNIT 5 A	N eye to ire	practi future	ce talkii	learn and ng in the nd discuss future.	5	
第7回	UNIT 6 What matters to me		ill learn a nal questio		第22回	UNIT 6 N	laking it	Students will study and				
第8回	Review	Review qu	iz		第23回	Review		Review quiz				
第9回	UNIT 7 Passions and fashions	spoken Eng	ill learn a lish and an about Socce	swer		UNIT 7 G along		<i>Modal</i> asking	question	d practic ns.	е	
第10回		and answer	trips in hi	story.	第25回	UNIT 8 and plac	People es	Relati Partic	ts will : ve claus iples.	es,		
第11回	UNIT 9 It depends how you look at it		ill learn a Is and will e them.	I	第26回	UNIT 9 C	changing	practi habit.	ce <i>Expre</i>		-1	
第12回	UNIT 10 All things high tech.		ill read ab s "21st cen		第27回	UNIT 10 living	Dangerous	auxili have b done, and Ex verbs.	ary verb een , mi should h pression	with moda		
第13回	UNIT 11 Seeing is believing.	Students w past and p probabilit		bout	第28回	UNIT 11 dreams	In your	Hypoth Expres	ts will : esizing ; sions wi	and the If		
第14回	UNIT 12 Telling it like it is.	discuss ab	ill read an out the peo d the world	ple	第29回	UNIT 12 dreams.	In your	practi of qua conver	ce using ntity in sations.	•		
第15回	Wrap-up	understand English gr	ill be able the struct ammar and b cate with e	ure of e able	第30回	Wrap-u	р	unders of Eng	tand the lish gram o commun	structure structure nmar and b icate with	e oe	
評価 方及評価 基準	Class Participation pass this course.	on:30%; Cla	ss Activitie	s/Homework	: 30%; Fina	ıl Examin	ation : 40%	. Over	60% of to	otal is nee	eded to	
教材 教科書 参考書	American Headway (ISBN: 978-0-19-4		dent Book w/	MultiROM	(ISBN: 978-0)-19-47298	3-3), and A	lmerican	Headway	Level 3 Wo	orkbook	
留意点	Studying English you will enjoy th									le bit ev	eryday,	

								2単位				
科目名	英語Ⅱ		科目コード	W	24008		単位数 時間	60時間	対象学年	2年	明講 学期	通年
区分	社会福祉学支援科	·目 選択	担当者名			字	野 忠徳			授業	講義	単独
ΔЛ	教職科目	必修	担当有为			央	判心心心			形態	再我	平低
授業の 概要	さまざまな場面で自	目然な英語表	現が使える	ようにトレ	ーニン	グする。						
到達目標	場面に即した英語表	長現が即座に	使えるよう	になるのを	目標と	する。						
	1			ŧ	受業	計画						
0	主 題	授業内容(授	業時間外の急	学修を含む)	備考	0	Ė	三題	授業内容	字(授業時	間外の学修を含	む) 備考
第1回	introudction	この授業ので	ぎ行うことの	導入		第16回	中級程度の	会話 (5)	反対意見	見を表明す	「る	
第2回	初歩的な会話 (1)	車内での会請	£			第17回	中級程度の	会話 (6)	相手を褒	そめる		
第3回	初歩的な会話(2)	車内販売員と	の会話			第18回	中級程度の	会話(7)	相手をフ	フォローす	「る	
第4回	初歩的な会話 (3)	英会話学校で	での会話			第19回	中級程度の	会話(8)	アパート	を引き払	ふ う	
第5回	初歩的な会話 (4)	デパートでの)会話			第20回	中級程度の	会話 (9)	行事を訪	説明する		
第6回	初歩的な会話 (5)	security ch	eckでの会話			第21回	中級程度の	会話(10)	「様々」	を説明す	る	
第7回	初歩的な会話 (6)	税関での会請	£			第22回	上級英語((1)	比較しな	いがら説明	月する	
第8回	初歩的な会話 (7)	年間行事の会	会話			第23回	上級英語((2)	「様々」	を説明す	る	
第9回	初歩的な会話 (8)	料理の会話				第24回	上級英語((3)	「など」	を説明す	る	
第10回	初歩的な会話 (9)	郵便局での会	会話			第25回	上級英語((4)	人に指礼	しを与える	5	
第11回	初歩的な会話 (1 0)	スポーツに関	関する会話			第26回	上級英語((5)	複雑な問	問題を明確	笙に説明する	(1)
第12回	中級程度の会話(1)	旅行の計画を	を練る			第27回	上級英語((6)	複雑な問	問題を明確	笙に説明する	(2)
第13回	中級程度の会話 (2)	相手からの質	質問に答える			第28回	上級英語((7)	複雑な問	問題を明確	笙に説明する	(3)
第14回	中級程度の会話 (3)	するべきこと	さを伝える			第29回	上級英語((8)	複雑な問	問題を明確	笙に説明する	(4)
第15回	中級程度の会話 (4)	賛成意見を表	長明する			第30回	総復習		1 年間の)総復習		
評価 方及 評価 基準	毎週行うトレーニン 簡単な英語での会記											
教材 教科書 参考書	テキストは使用しま	 きせん。										
留意点	英語の徹底的なトレ	ノーニン グな	ので、欠席	はしないよ	うにし	てくださ	L۱.					